

BULLETIN Kyushu BRANCH

The Japan Institute of Architects Kyushu branch

DEC.2023

九州で活躍する建築家のための情報誌

Contents

支部長挨拶	P2	わさもん	P22-23
とくべつきこう	P3-9	協力会つうしん	P24
おしえて	P10-12	委員会報告	P25-30
もよおし	P13-15	地域会活動報告	P31-56
とびっくす	P16-18	編集後記	P57
よかもん	P19-21		

支部長挨拶



松山 将勝（九州支部長）

2023年も残り僅かとなりました。仕事納めのこの時期は、会員の皆様も何かとお忙しい日々をお過ごしのことと思います。年末の締めくくりとして、今年に終えた支部長漫遊記と今年からスタートした九州建築新人賞を中心に一年を振り返りたいと思います。

2021年6月に鹿児島からスタートした「支部長漫遊記」は、熊本、長崎、福岡、大分、北福岡、宮崎と続き、今年9月の佐賀で最終回を迎えました。約2年間で8地域会を巡り、総勢37名の若手建築家たちと対話を重ねてきました。コロナ禍でさまざまな事業が中止を余儀なくされる中、私が支部長としてできる事は何か。自問自答しながらの日々を過ごしていましたが、これから九州建築界の未来を牽引する次世代の建築家たちが、今何を考えもがき苦しむ建築を思考しているのか。それを確認する作業から始めたいと思い、広報委員会に企画をお願いしました。来年2月には、この企画の総括として参加いただいた若手建築家にお声掛けをして、支部長漫遊記の総括討論会を開催する予定です。2年間対話を重ねてきた成果については、総括討論会を終えた後に改めて報告したいと思います。普段はJIA会員との交流が殆どの私ですが、参加建築家37名の内、JIA会員が12名、非会員が25名と初めてお会いする方も多く、中には構造家も数名おり九州には能力の高い若い世代がたくさん存在している事を実感しました。そして、建築を本気で語り議論する場をJIA自らが起こしていくことの重要性を改めて感じ、その事が次第に私の使命に変わっていききました。

支部長漫遊記で対話を重ねてきた中で、九州において若手建築家の評価軸が無いこと。また、公の場としての批評性を持った議論の場が少ないことを感じ、それらを確立させるために「九州建築新人賞」の創設に向かって一昨年から検討を重ねて参りました。九州支部の厳しい財政状況の中で事業継続ができるのか。課題は残されていますが、この度多くの会員の皆様からご協賛をいただき、九州建築新人賞をスタートすることができました。ご協賛をいただきました会員の皆様には、この場を借りて心から感謝申し上げます。

応募期間9月～10月の2ヵ月間で、九州全域から予想を上回る42作品の応募がありました。11月に行われた1次審査では、3名の審査員が苦悩するほど作品のレベルが非常に高く、長時間の審査の結果、2次審査には10作品が選出されました。来年1月末～3月初旬に2次審査（現地審査）を実施、3月末に新人賞受賞者の決定、5月総会にて表彰式と進んで参ります。また、受賞者決定後の4月には3名の審査員と2次審査に進んだ10名の建築家による「九州建築新人賞討論会」を開催する予定です。賞に届かなかった建築家が直接審査員とぶつかり合い、作品の批評や審査経緯についても明らかにすることで、彼らの次への糧となる討論会になればと考えています。こうした場の創出によって、九州建築界の未来をリードする建築家を育てていく事はJIAの大切な使命であり、JIAが信頼される団体として生まれ変わるため

にも、今一度原点に立ち戻りJIA独自の路線確立と新たな歩みに挑んで行かなければ、未来の扉は開いてはくれません。

私の支部長としての任期は残り半年となりましたが、その礎を残して後進に引き継ぐことをお約束して、最後まで走り続けたいと思います。

先月の11月9日～11日の3日間で、JIA建築家大会2023東海in常滑が開催されました。来年は大分県別府市で開催される事から、今回は全国大会の視察という目的もあり、九州支部からは50名を超える会員と協力会員に参加いただきました。常滑大会の報告はJIAマガジンの次号で掲載されますのでここでは割愛しますが、来年はいよいよ九州支部が開催支部となります。開催日は2024年11月28日～30日の3日間。メイン会場も磯崎新氏設計のピーコンプラザに決定し、大会の実行委員会も本格的に始動しています。各地域会から選出されたメンバーが九州ワンチームとして大会準備を進めている所ですが、大会の成功に向けて会員の皆様のご支援とご協力を賜りたく、何卒お力添えをいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

9月21日～23日の2泊3日で、JIA九州建築塾が鹿児島地域会の主導のもと、指宿市で開催されました。詳細はこのあとに鹿児島地域会の宮崎代表がレポートしていますので、ぜひご覧ください。素晴らしい建築塾を開催いただきました鹿児島地域会の皆さんに深く感謝申し上げます。

また、子どもたちに建築の魅力を伝えるエコルサポート事業を、福岡市立東住吉小学校で開催致しました。建築塾のあとに福岡地域会の今井会員がレポートしていますので、ぜひご覧ください。こうした建築家の職業を子どもたちに伝えていく事業が、九州全域に広がる事を期待します。

今年も建築市場の高騰に悩まされた一年であったかと思えます。なんとか高止まった感はあると思いますが、来年の建設業2024年問題（働き方改革関連法）によって、まだまだ不透明な状況は続いています。建築プロジェクトを船頭する私たち建築家の苦難も続いていくでしょう。

こうした厳しい状況下において、JIA会員間の情報交換はとても貴重な助言となります。

JIA九州支部会員が結束して、この難局をともに乗り越えていくためにも活動や交流の場に積極的にご参加いただければ幸いです。

来年は九州での全国大会が控えていますので、会員の皆様の負担を考え支部事業については厳選する年になるかと思いますが、引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては年の瀬の慌ただしい中、体調など崩されませんよう、くれぐれもご自愛いただき、良き新年をお迎えください。

2024年が皆様にとって素敵な一年となりますように。

23th J I A 九州建築塾inいぶすき REPORT 2023/9/21～9/23



宮崎 秀志 (鹿児島地域会)

公益社団法人日本建築家協会九州支部は 2023 年 9 月 21 日～9 月 23 日 (2 泊 3 日) の日程で第 23 回 JIA 九州建築塾を鹿児島県指宿市にて開催しました。九州各地より若手建築設計者ら計 19 名の塾生が参加し、講師は建築家の高崎正治氏・ランドスケープアーキテクトの三谷徹氏・広場ニストの山下裕子氏・JIA 鹿児島地域会代表で指宿市出身の宮崎秀志氏の 4 名にお願いしました。

テーマは「指宿を建築にしろ」とし塾生を 4 グループに分け、課題に基づき提案発表を行うプログラムとしました。最終日には塾生発表の様子や講師によるまちづくりについての講演を一般にも公開し、市民にも建築への関心をもっといただける内容としました。

本塾はレクチャー、プレゼンテーション、ディスカッション、ワーキング等を合宿形式で昼夜行う集中的で高密度のプログラムです。九州の設計界における様々な繋がりや発展を考え始めた本塾は、九州の各県地域で開催し今回で 23 回を数えます。本塾の卒業生は 200 名を超え、建築塾で培った経験をもとに全国で活躍しています。塾生には様々な視点から建築を考えながら多様な展開を講師とともに模索し、新しい考えを吸収する力、決められた時間内に自分の考えをまとめる力をまたグループとして 1 つの案にまとめ上げることができるかを身につけ情熱にあふれる若き建築家となる事を期待しています。

【テーマ】『指宿を建築にしろ』

指宿の現状とその背景

「砂浜→緑地のありかた→背後地の活用→市全体のまちづくり→南九州全体の活性化」

鹿児島県薩摩半島の南端に位置する指宿市は古来より「湯豊宿」と呼ばれ、砂むし温泉など全国的にも知名度の高い観光地方都市です。1960 年代のハネムーンブームでは「東洋のハワイ」と呼ばれ海岸線沿いの砂浜では天然の砂蒸し風呂や浜競馬も行われていましたが、度重なる台風災害により防災護岸がつくられ砂浜はほぼ失われてしまいました。しかし現在、防災事業として約 1.8km の砂浜再生工事が 5 年後の完成に向け進行中です。砂浜再生工事に伴い市街地とのバッファとして海岸線沿いに長大な緑地も計画されており、これ

を機にまちづくりを含めた全体の計画が重要と考えられています。そのため多様な視点で捉え、全体を俯瞰したまちづくりの為の建築を提案するのもその 1 つかと考えます。例えば海岸線へのアクセスの 1 つである駅前通りの商店街の活性化や誘導コアとなるなにか、海岸線沿いや背後地の空き地活用など地方都市の抱える諸問題と合わせ、緑地のランドスケープと一体化した魅力ある提案が求められています。

【各講師より塾生へ】

高崎正治

鹿児島建築世界 ～ 東シナ海文化圏構想

日本の最南西端に位置する鹿児島県は、霧島・桜島・開聞岳に代表される火山帯を連れ、今なお人々の眼前に火柱を上げる桜島はこの地のダイナミズムを象徴する。さらに、その特異な風土への認識には、西に面した東シナ海、南東・南に開かれる太平洋に、それぞれに深切な実意を込めて点在する大小さまざまな島々が照射されなければならない。黒潮の流動によってもたらされた文化の異風…この南方性は硬化した現代の精神を衝動する力に溢れている。鹿児島は現代に稀有な神聖なる時空間である。しかし、戦後の鹿児島建築はこの様な背景を持つ地理的、歴史的な脈にそって存在しているのだろうか？ 薩摩の大地が育ててきた地域の型、美、固有性、情熱は受け継がれているのだろうか？ 既存概念や流行りの建築をまねしても地域の尊厳は生まれえない。薩摩・鹿児島豊かな風土や地形が秘めた鬼気迫るエネルギーを受け、かつて誰も見出していない美と愛を自らの感受性を元に新しく発見し、オリジンでありオリジナリティを持つ建築の姿を設計すべきだ「私は強い意思と芸術性を持って挑戦する者、具現化する創造の力を持つ者を建築家と呼びたい」 地域空間の自立を建築そのものに表現し、内に、外に向かって薩摩・鹿児島を表現しうる 21 世紀の血の通った建築と建築家を求めたい。

三谷徹氏

「指宿を建築にしろ」はなかなか刺激的なタイトルです。なぜなら「いぶすき」という土地を建築する、まさに Landscape Architecture そのもののタイトルになっているからです。ランドスケープに現れてくる形は、人間が一方向的に作

り出した形でも、自然が作り出した形そのものでもありません。土地の上に人々が生活を繰り返し広げた時、初めて目にみえてくる土地のかたちなのです。それが時代を経て、幾層にも重なり合っているのが風景です。建築とは、それらを発見し再編集するデザイン行為ではないでしょうか、ランドスケープの設計に30年ほど携わってきたので、少ない知識ではありますが、みなさんと共有できたらと思っています。一方、建築は、政策決定者のように土地全体をコントロールする上位計画を押し広げる活動でもありません。一敷地、一区画への働きかけの中に、想いを込め、密度の高いものを提案してゆく、そんな草の根的な動きから、世界を批評し、新たな視点を提示してゆく仕事かもしれません。JIAの塾で、みなさんの情熱あふれる提案に出会えることを期待しています。お互いに学びを深めましょう。

山下裕子氏

自分が、好まないような時間帯にあえて訪問し3時間以上、滞在して、観察を続けてください。ゼロから、イチをうむのは容易ではありませんがイチを、ニや、サンにするには、取り組み方法があります。まず、いますでに、そこを往来している方々がより、便利に、楽しく、居心地よくなるために必要なものは、なにかは、観察から始まると感じております。ご参考まで。

宮崎秀志氏

私の故郷である指宿で建築塾が開催される意義を改めて考えてみた。20数年前から指宿のまちづくりに関わってきた立場から見ると今回の課題は結構リアルだと感じている。

建築家がまちづくりに関わるといことは中途半端な気持ちでは市民の同意は得られず、ロングランで信頼を得て初めて参加できる。それまではボランティア精神で挑むしかない。しかし問題もある、市民との温度差があり、こちらの思いが空回りする。私は市民に「どうする指宿」といった問いを投げかけ、奮起してもらいたいと考えている。その為には夢物語ではなくリアルな提案が必要だ。それを伝える手段も重要となる。指宿は地方都市の中では恵まれているかもしれない。まちづくりの転換点となる砂浜再生の事業がそこにあり、おおきな手がかりとなる可能性を秘めている。しかし自然災害から街を守る為に防災護岸がつけられ、結果それにより失われた砂浜を今度も人工的に力業で再生し、再び自然に対抗しようとする。それを機にまちづくりも行う。この背景をどう捉えるか、建築に何ができるのか、土木領域と建築に境界はあるのか、過去の災害の教訓は活かされているのか、様々な疑問を巡らせながら、まちを俯瞰してみたい。ま

ちづくりに境界は無い、しかし建築には物理的な境界がある、それを結びつける何かがあるはずだ。迷える指宿の道しるべとなる提案を期待したい。

9/21 the first day

Coco はしむれは、それまで定説とされた「異なる縄文土器と弥生土器は民族の違いによるもの」を、「二つの土器は時代の違いによるもの」という事を立証した貴重な遺跡であるが、塾生を含め講師も一緒に指宿の古い歴史にふれる事ができた。岩崎美術館見学。本来は内部までしっかり見学したかった横文彦氏設計の岩崎美術館であったが、移動時間やその後のスケジュールを考慮し、外観及びエントランス部分の見学に留めた。今後、塾生が自主的に再来してくれることを願う。



COCOはしむれ見学

講師と塾生



まち歩きの様子

岩崎美術館見学

まち歩き。講師陣の「敷地はエリアを決めない。また出題された敷地以外にふさわしい敷地があれば変えても良い。」という実に自由な、そして難易度の高い要求に塾生たちはグループごとに目を輝かせ街を見て回った。南国指宿は夏になればスクールがあり塾生を襲ったが、それにもめげずに指宿の街を縦横無尽に歩き回った。その頃、講師の三谷徹氏は指宿市を一望できる魚見岳の天辺にいた。尖がった山の上にある小さな展望台から街全体を俯瞰され、大地の不陸はもちろん駅と商店街の関係や、駅・温泉街・海の繋がりなどをつぶさに見られた。案内は塾長で指宿出身の建築家高崎正治氏で、アテンドした JIA 会員にとっても有意義な時間となった。

初日レクチャー

初日レクチャーは、自己紹介のあと、初めに鹿児島県の歴史を学んでもらうために、今年3月まで鹿児島大学教授を務められた JIA鹿児島地域会の鯉坂徹氏に「麓」について講演をして頂いた。麓は鹿児島で唯一の日本遺産に登録された「薩



塾生自己紹介



中間レクチャーの様子



初日意見交換会の様子



初日レクチャーの様子



初日レクチャーの様子

摩の外城制度」であり、建築と街づくりが関係する江戸時代から続く歴史的な背景である。その後、高崎正治氏の塾生に向けて建築への心構えとエール、三谷徹氏は過去の作品を紹介しながら、ランドスケープの奥深さ、面白さを話され、JIA 鹿児島地域会代表で講師の宮崎秀志氏によるレクチャーと続いた。

初日意見交換会

塾生、教師陣、JIA アテンド班合同での食事会であったが、途中で塾生はグループごとに壇上に上がり、方針や意見込みを話す事になった。突然の事であったが、細かく街を分析しているグループや、まだこれから始まる雰囲気ของกลุ่มなど様々であった。

9/22 the 2nd day 中間レクチャー

講師の山下裕子氏にまちづくりのヒントとなるレクチャーをいただき、その後塾生作品の中間発表を行った。ここでの発表と講師からの指摘・アドバイスが最終発表への



中間発表の様子

道筋を決めたといえる。明日の最終発表に向けて本番さながらの時間制限も行いながらの発表とした。中間とは言い、厳しい指摘も多く方向性に迷い、悩んだグループも少なくない。短い時間で現地を見て肌で感じたインスピレーションから空間を導く作業は簡単では無い。明日の最終発表までの時間が迫る中、塾生全員が必死となり講師陣とのセッションも続き作業は深夜に及んだ。

2日目意見交換会

九州支部から役員はじめ多くの会員が参加し、食事をしながら塾生の話を聞き、励ましの言葉をかけて語り合った。また塾生同志も他のグループと意見交換を行い、突き当たった難題を話し合っていたようだ。塾生は早めに切り上げて作業へ移った。その後、講師も作業の様子を伺いに行き夜更けまで作業は続いた。各グループは壇上で途中経過を発表したがこの時点で作品の最終着地点が見えているグループは少なかったと感じた。

9/23 the last day 塾生発表クリティーク

塾生の提案作品発表は講師の高崎正治氏設計の「なのはな館」視聴覚室にて市民、学生ら約 30 名も参加し一般公開する形式で行われた。4 グループごとに順にプロジェクターや

模型を使って発表しクリティークがなされた。クリティークでは講師の高崎正治氏、三谷徹氏、山下裕子氏、の宮崎秀志氏、JIA九州支部長の松山将勝氏から様々な角度からの講評がなされた。その後、塾生や一般の視聴者から講師陣への質問があり各講師は丁寧に応えられた。



塾生へ終了証授与

最後に一般参加の市民を含む会場の全員がステージへ集まり、模型やパネルなどの作品を見ながら意見交換を行った。その後、塾終了証書を松山支部長より塾生全員に授与いただき、全員で記念撮影を行った。

各グループの作品

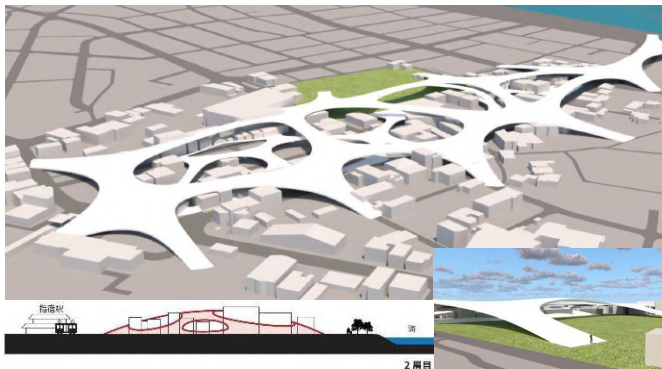
Group A「令和の大噴火」

火山の大噴火により指宿のまちが更新されてきた事に着目し、火山灰がまちを覆う様子を建築に落とし込み指宿のまちをアップデートする。3層にレイヤ化した大屋根をかけ既存の街のスケールや用途を再構成する提案

講師とのクリティークでは どこにでも通ずるのでは、こ



Group Aメンバー



Group A作品

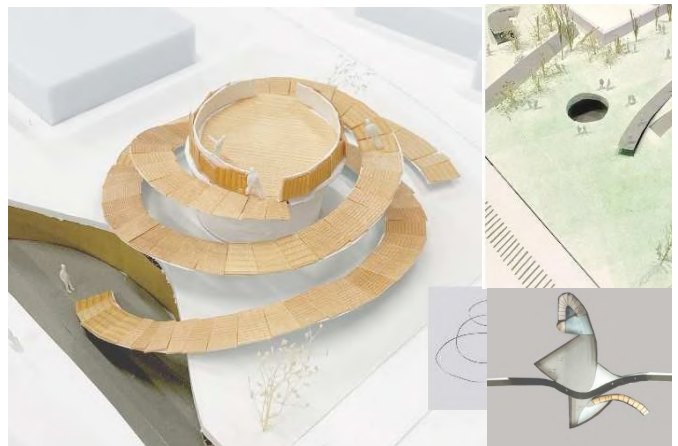
こでしかないものなのか、巨大建造物の可否、まとまりの必要性をデザインに落としこんだ案、アクティビティをグランドラインではなく上層にもっていったのは何故か、サグラダファミリアのように工事中が面白い美しい、つくる過程の楽しみ、ジャンプした考えは素晴らしい、地球温暖化抑制などアプローチからの説得力も欲しい、CGの形状バランスが素晴らしい。

Group B「時を巡る、玉手箱『指宿』マスタープラン」

指宿の景色を調査し、遺跡を中心に考えた、竪穴式住居、時代を超えた街並み、海をつなぐ水路に着目し、終点までいくと地層が見え時間のひずみを持つ、遺跡を拠点に時間をめぐる建築をつくる提案。イメージは火山灰の積もる様子を模した螺旋形を水路と神舎、歴史を見渡す展望台、歴史が積もる、町から文様の文様、はしむれ遺跡との連続性で地下化、地上から降りる光、地上は公園し地下との光の対比、発掘されるイメージ、浦島太郎竜宮伝説、玉手箱列車、そこから体験楽しめる、火山防災を語る次ぐ意味。講師とのクリティークでは、展望所とまち水路の関係性、展望台や螺旋の解き方、水路を歩いて体験する過去へのストーリーの説明、講師陣が考えぬいた敷地を変え自ら敷地を見つける力、わずかなアップダウンに気づき建築に落とし込む力、平面模式デッサンがすばらしい、古代の紋章曲線が綺麗、線が上品



Group Bメンバー



Group B作品

のように大胆に、中間レクの紙芝居は面白かったが何故なくした、遺跡、歴史は市民としても遠い存在になっており着目は良い。

Group C 「第三のいぶすき」

指宿のまちの原風景は宮ヶ浜にある。美しい錦江湾を見下ろす通り上の敷地に着目し、もともとまちの中心であった指宿駅を そっと移す提案。いぶすきのスケールを L、M、S に分類しまちをリサーチした。L の宮ヶ浜温泉、昔からの集落、M の商店街、シャッター通り、水路、飲み屋街、S は人モノの流れ、JR、国道、海とまちをつなぐ道路、水路、以上のリサーチ結果から、まっすぐな道、海を見下ろせる場所、軸線を発見し指宿駅を、そっと移し、美しい錦江湾を見下ろせる駅とする、はしむれ遺跡の標高 2.4m、を新しい駅のレベルと合わせる、南北の交通の軸となる、地層の重なり屋根デザイン、もとの駅前通りはそのまま活かし人々の滞留空間を創出する。既存暗渠を開渠に復活する。講師とのクリティークでは、リサーチ力は素晴らしい、駅が近代的すぎるか、レベルの説明をもっと、交通の結節点で南北をつなぐ説明、自然との調和がとれているか、風景に似合うものか、少しのふるまいでいぶすきに新たな息吹をもたらす提案は心に響いた、最小のしかけで最大の効果を得られる、わびさびを



Group Cメンバー



Group C作品

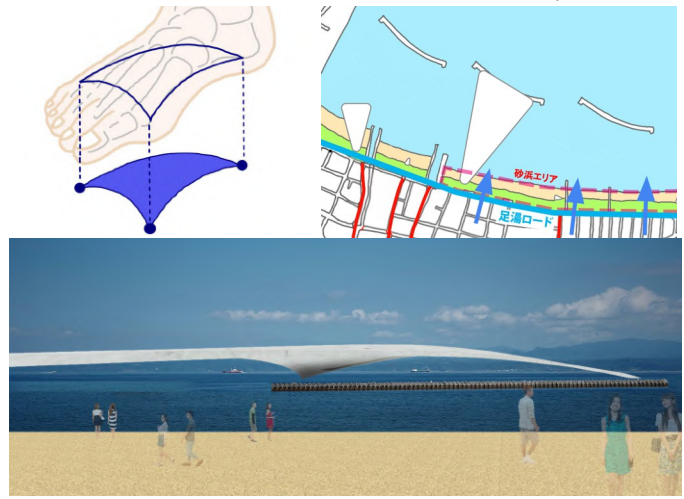
追求すると面白い、ランドスケープとして面白い、この通りを見つけた LMS から地理的な特徴から歩いて、海への抜け、緩い坂を発見したのは素晴らしい、風景と一緒に考える建築として周りも含めた広域な模型が必要である。

Group D 「はだしでいぶすき」

裸足で歩けるいぶすきとして防波堤から砂浜までの大屋根などをかける提案。まち観察で海岸の砂にさわって熱いことに衝撃、うみから湯気、海沿いの道を歩く、歩くと快適になる街を建築に落とし込む、防波堤から屋根、木陰を求めて人が集まる建築、用途に応じた大小のアーチ屋根を砂浜にかける。海岸から海へ飛び出したような建築、人を支える足の裏を模した構造、海沿いの道路を足湯ロードとし砂浜や、ホテル、マンション行くのも裸足、裸足で歩ける気持ちの良いまち。講師とのクリティークでは、大屋根 CG のインパクトは凄い、ここまでくるとすがすがしい、建築として難しい構造問題にも触れなくてはならないが未来の工法を提案するなどプレゼンの手法も重要。いい顔つきになってきた、どれだけジャンプできるか思っていたが見事にジャンプした、人体や動物など 3 点で支える構造は素晴らしい着想、自身の裸足を観察して発見した、はだしであるくことにこだわり、裸足は日本人の所作と日本庭園にもセンシティブである、直観力



Group Dメンバー



Group D作品

のすばらしさ、魚見岳からみたパースは「指宿を建築にしろ」を理解し建築を風景として扱っている、海から見たパースを書けば足湯ロードの湯気が陽炎のように街を包みより温泉地指宿らしさが出たかもしれない。

講演会

建築塾発表後引き続き、講師の三谷徹氏と山下裕子氏に登壇頂き講演が行われた。三谷徹氏のご自身の作品や活動を通して、建築とランドスケープが一体である事の重要性を説かれ、山下裕子氏は街に存在する「ひろば」に着目した活動を紹介されながらコミュニティや街づくりについて語られた。

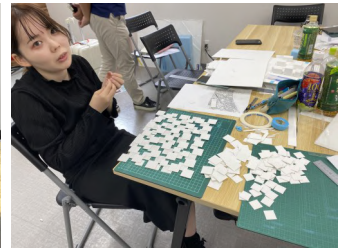
最後に、塾長である高崎正治氏からまとめの言葉として若き建築家へ熱いエールが送られた。今回のテーマ「指宿を建築にしろ」は、まさに建築の原点である土地と建築の関係性、建築と地域との調和や対峙、そして新たな街の在り方をデザインするという壮大なものであった。テーマに自由があるがゆえ計画は難しく、この塾で初めて会った4~5人のグループは様々な葛藤に向き合いながらも最終的にどうまとめるかが鍵となった。この建築塾で学ぶべきは建築的思考だけではなく、コミュニケーション力や自己主張力、そして精神力を養うものであるが、最後の発表ではどのグループもしっかりまとめ、塾生は難しいテーマに対して短い時間の中で見事に答えてくれた、塾生の皆様にはこの塾の経験を活かして今後も建築家として活躍してほしい。以上で建築塾を含む全日程を終了した。

今回、支部役員の皆様、鹿児島地域会の皆様、スタッフを建築塾に参加させて頂いた事務所の皆様、講師を務めて頂いた高崎様、三谷様、山下様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。中間発表では大丈夫かと心配する内容のプレゼンでしたが、最終発表は各グループとも驚くほどブラッシュ

アップされ、塾生たちの若きエネルギーを一晩で集中させ、よくぞここまで磨き上げたのかと感激し、不覚にも涙したのは私だけではないはずです。全日程を終えバスに乗り込んだ笑顔の塾生たちを見送り、安堵と共に本塾での経験が今後の設計活動に活かされる事を願ってやみません。ありがとうございました。



塾生同士の打合せ風景



プレゼンに向け作業中



塾生へのレクチャー



2日目意見交換会



クリティークの様子



全員集合写真

【講師 Profile】

高崎正治／王立英国建築家協会名誉フェロー建築家、京都芸術大学教授を経て同大学院客員教授鹿児島大学講師、高崎正治都市建築設計事務所、TAKASAKI 物人研究所

message 「薩摩・鹿児島を表現しうる 21 世紀の血の通った建築と建築家を求めたい！」

三谷徹／東京大学大学院工学研究科教授、オンサイト計画設計事務所、ランドスケープアーキテクト

message 「土地のいのちを見つけ風景のかたちにする、ランドスケープの力を学びましょう。」

山下裕子／ひと・ネットワーククリエイター、広場ニスト、全国まちなか広場研究所

message 「なにかをやろうとしている尊いみなさまとの出会い！楽しみにしております。」

宮崎秀志／JIA 鹿児島地域会代表、エムズデザイン工房
message 「敷地を飛び出せ！」

【建築塾フライヤー】

【テーマ】 『指宿を建築にしろ』

指宿の現状とその背景「砂浜→緑地のありかた→背後地の活用→市全体のまちづくり→南九州全体の活性化」
鹿児島県薩摩半島の南端に位置する指宿市は古来より「湯豊宿」と呼ばれ、砂むし温泉など全国的にも知名度の高い観光地です。1960年代のハネムーンブームでは「東洋のハワイ」と呼ばれ海岸線沿いの砂浜では天然の砂蒸し風呂や浜競馬も行われていましたが、度重なる台風災害により防災避難がつくられ砂浜はほぼ失われてしまいました。しかし現在、防災事業として約1.8kmの砂浜再生工事が5年後の完成に向け進行中です。砂浜再生工事に伴い市街地とのバッファとして海岸線沿いに長大な緑地も計画されており、これを機にまちづくりを含めた全体の計画が重要と考えられています。そのため多様な視点で捉え、全体を俯瞰したまちづくりの建築を提案するものもその1つかと考えます。例えば海岸線へのアクセスの1つである駅前通りの商店街の活性化や誘導コアとなるなか、海岸線沿いと背後地の空き地活用など地方都市の抱える諸問題と合わせ、緑地のランドスケープと一体化した魅力ある提案が求められています。

【課題】 ※各グループにて当日に向けた事前協議準備を行う事。

各講師のメッセージを読み解き、現地指宿を肌で感じそのエネルギーを具現化してください。

敷地は仮設定していますが、面白いと感じる土地があれば設定は自由です。

提案、プレゼンテーションの方法も問いません。

塾生諸君のインスピレーションを最大限に表現してください。

短期間ではありますがエネルギーッシュで高密度な提案を期待しています。

提供資料

- 位置図、国土地理院白地図
- 公開資料(参考)
- 国土地理院 地図、空中写真閲覧サービス・地理院地図・cocco はしむれ・都市計画マスタープラン
- 指宿海岸整備基本構想等・指宿海岸保全協議会(市民WS)等

【講師 Profile】



高崎正治 三谷徹 山下裕子 宮崎秀志

【塾生名簿】

No	group	地域会 県	氏名	所属
1	A	長崎	杉本 剛	株式会社MORアーキテクト
2		鹿児島 指宿	白山 正志	白山設計事務所 (白山建設)
3		福岡	本多 葵	株松山建築設計室
4	B	宮崎	峯崎 惇平	山根製作所
5		長崎	鈴江 佑弥	株式会社INTERMEDIA
6		鹿児島	中武 昌平	株式会社武田建築事務所
7		大分	梅田 高哉	株式会社神力設計
8		福岡	竹山 健太郎	株式会社和田設計
9	C	熊本	坂口 慶子	株式会社ライフジャム一級建築士事務所
10		長崎	杉浦 雄一郎	株式会社INTERMEDIA
11		福岡	守田 龍平	株式会社環・設計工房
12		熊本	木原 和也	株式会社ライフジャム一級建築士事務所
13	D	大分	佐藤 和花	株式会社大有設計
14		鹿児島	上栗 暲	株式会社のみのだ設計
15		福岡	井上 直大	株松山建築設計室
16	D	鹿児島	丸野 大樹	トラス・アーキテクト(株)
17		長崎	黒岩 薫	株式会社MORアーキテクト
18		大分	森 悟	伊藤憲吾建築設計事務所
19			佐賀 保澤 伸光	佐賀大学理工学部理工学科建築環境デザインコース
計19名 4グループ				

【タイムスケジュール】

9月21日(木)		9月22日(金)		9月23日(土)	
9:30	三谷氏 空港送迎 ANA2471 9:35着	9:30	終日 塾生まち案内送迎 (JIA会員車)	9:30	
9:40		9:40		9:40	
9:50		9:50		9:50	
10:00		10:00		10:00	
10:10		10:10		10:10	
10:20		10:20		10:20	
10:30	10:30 先陣隊:会場設営・見学先手配	10:30		10:30	10:30~11:20
10:40		10:40		10:40	昼食(弁当)
10:50		10:50		10:50	チェックアウト、清拭
11:00	11:00 中央駅乗換・新幹線改札出口	11:00		11:00	
11:10		11:10		11:10	
11:20		11:20		11:20	11:20~11:50
11:30		11:30		11:30	なのはな館移動・設営・市民受付
11:40	11:20発	11:40	昼食は各自	11:40	
11:50	マイクロバス・JIA会員車	11:50		11:50	
12:00	中央駅→指宿 (昼食/15分以内で弁当)	12:00	山下氏 指宿駅前 12:48	12:00	開会準備
12:10		12:10		12:10	
12:20		12:20	役員会場設営	12:20	
12:30	13:00前	12:30		12:30	12:00~14:30 2.5H 150分
12:40		12:40		12:40	なのはな館視聴覚室
12:50		12:50		12:50	なのはな館視聴覚室
13:00	13:00 現地集合 COCOはしむれ駐車場	13:00		13:00	開会5分
13:10		13:10		13:10	プレゼン前編25分×4=100分
13:20	13:10~13:50 40分	13:20		13:20	休憩5分
13:30	COCOはしむれ見学	13:30		13:30	質疑30分
13:40		13:40		13:40	修了直後・記念撮影 10分
13:50	移動	13:50	12:30~15:30 3H	13:50	
14:00	14:00~14:10 岩崎美術館外観見学	14:00	支部役員会 2号館宴会場	14:00	
14:10	移動	14:10		14:10	
14:20		14:20		14:20	
14:30		14:30		14:30	
14:40	14:20~15:50 90分	14:40		14:40	14:30~16:00 1.5H 90分
14:50	指宿まち見学 車で周遊後	14:50		14:50	休憩10分
15:00	指宿駅→海岸へ徒歩	15:00		15:00	講義会 30分×2=60分
15:10		15:10		15:10	質疑20分
15:20		15:20		15:20	なのはな館視聴覚室
15:30		15:30		15:30	
15:40		15:40		15:40	
15:50	移動	15:50		15:50	
16:00	16:00 個別者 チェックイン	16:00		16:00	
16:10		16:10		16:10	解散・片付け ~16:20
16:20		16:20		16:20	移動
16:30		16:30		16:30	
16:40	16:20~18:00 100分	16:40	16:00~18:00 120分	16:40	
16:50		16:50		16:50	
17:00	開会 自己紹介	17:00	中継リクチャー	17:00	16:30発
17:10	講師リクチャー等	17:10	3号館会議室	17:10	マイクロバス・JIA会員車
17:20	3号館会議室	17:20		17:20	指宿→中央駅
17:30		17:30		17:30	18:00着
17:40		17:40		17:40	
17:50		17:50		17:50	
18:00		18:00		18:00	
18:10	18:10~18:50	18:10	18:00~18:50	18:10	
18:20	温泉入浴等	18:20	温泉入浴等	18:20	
18:30		18:30		18:30	新幹線組は中央駅にて解散
18:40		18:40		18:40	
18:50	18:50集合	18:50	18:50集合	18:50	山下氏 指宿駅前 16:39
19:00		19:00		19:00	
19:10		19:10		19:10	
19:20		19:20		19:20	
19:30		19:30		19:30	三谷氏 空港送迎 ANA630 19:30発
19:40		19:40		19:40	
19:50		19:50		19:50	
20:00	19:00~21:00	20:00	19:00~21:00	20:00	
20:10	夕食・意見交換会 味彩2階	20:10	夕食・意見交換会 味彩2階	20:10	
20:20		20:20		20:20	
20:30		20:30		20:30	
20:40		20:40		20:40	
20:50		20:50		20:50	
21:00		21:00		21:00	
21:10		21:10		21:10	
21:20		21:20		21:20	
21:30		21:30		21:30	

備考 ※塾生はイベント以外は基本終日作業 ※3号館会議室は24H利用可 ※各時間の10分前には集合すること。

建築空間の美しさを工学する。



柴田 晃宏 (鹿児島地域会)

鹿児島大学学術研究院理工学域工学専攻建築学プログラム 教授

建築へ進んだきっかけ

中高生の頃は漫画家になるのが夢でした。高校を卒業したら東京に出て漫画家のアシスタントをするつもりでしたが、親や担任の先生に諭され大学への進学を決めました。そこで入試案内を眺めていると、建築学科には得意だった数学や物理にデッサンを合わせた入試があると知り、建築が美術と近しいと考え建築学科に進みました。入学後、設計課題が楽しく、建築へと惹かれていき、大学院時代に旅行で訪れたミラノの大聖堂に感動した際、「この感動は何によって為されているのか」という疑問が芽生えました。あれから30年ほど経ちますが、その疑問が今の研究に結びついています。

建築デザインにおける「美」

Vitruviusの「建築十書」には、建築に必要とされるものとして「強・用・美」という3つの要素が挙げられています。建築には芸術性といった精神的な快適さである「美」も求められますが、それでは、人々ほどの様なデザインに「美」を感じるのでしょうか？

「美しい」「カッコいい」「素敵」という形容詞は個人的な趣向のように捉えられがちですが、そこには一定の共通項が存在していると考えています。そこで、人が良いと感じる建築や空間の写真のサンプルとして集め、それらがどのような構成要素で成り立っているのかを、サンプルの写真の美しさを説明する語句から抽出しました。そこで得られた語句には「楽しい」「面白い」「興味深い」といった「美しい」とは少しニュアンスの異なった語句がみられたため、これらの

語句も含めて評価するために「美しい」を「視覚的快適性」という用語に置き換えて研究を進めていくことにしました。語句の類似性から形状、色彩、テクスチャ、空間構成といった要素にまとめ、それらを使った印象評価実験を行い、7つの視覚的快適因子を導き出しました。文化的な背景や年代などの属性によって異なる傾向があることも確認していますが、概して視覚的快適性の評価の中心を構成する要素は「生の躍動」と「死の尊厳」として捉えることが出来ると考えています。(写真1) ^{※1)}例えば、躍動的で複雑なもの、華やかな色づかい、有機的な形状等は「生の躍動」のデザインであり、モノトーン、装飾性のないシンプルな形状等は「死の尊厳」のデザインと言えます。

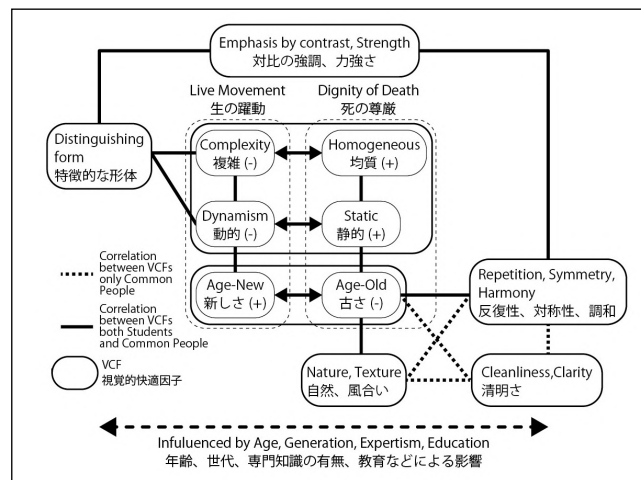


写真1_視覚的快適性評価構造

デザインの「流行」

デザインという行為には、常に新しいものを求める傾向があり、美しさの要素も時代とともに常に変わっています。ヨーロッパの建築様式を大まかにみると、ロマネスク、ゴシック、ルネサンス、バロックと移っ

ていきますが、シンプルなものから装飾性の強いものへ、そしてまたシンプルに戻り、装飾性の強いものへと移っています。常に前の時代と違う要素を求めながら、デザインは変化しています。かつては、このような建築様式の伝播と普及には時間が掛かっていました。しかし現代ではインターネットによって情報伝達の手が速く早くなっており、流行のサイクルが早くなっています。現在では、新しいデザインがほぼ同時に世界中に広まります。このため、シンプルと複雑といったサイクルもほぼ同時に進行する状況になっていて、もはや様式といったものは成立しない時代になったのかもしれない。

海外現代建築に見られる新しい屋根デザイン

近年、コンピューターによる3Dモデリング技術の進歩やアルゴリズムックデザインの拡大により、自由な形態の建築が従来よりも容易に設計することが可能になってきています。建築におけるコンピューショナルデザインの拡大は、デザイン向けに開発されたプログラム言語の登場及びBIMの普及が起因しています。BIM先進国である北欧ノルウェーでは、2000年にBIMの先駆けプロジェクトが発足しているのに対して、日本は2009年がBIM元年と呼ばれており、2000年代以降のコンピューショナルデザインによる実験的な造形の

	NC: No Change	CH: Change in Height	CV: Change in Vertex	CT: Change in Tilt angle	CVT: Change in Vertex & Tilt angle	
Downward Straight	D_NC-S (73.6,3)	D_CH-S (17.3,0)	D_CV-S (3.0,0)	D_CT-S (73.6,3)		N/A
Downward Curved	D_NC-C (2.2,0)	D_CH-C (3.2,0)	D_CV-C (0.1,0)	D_CT-C (0.1,0)		N/A
Up-Downward Straight	UD_NC-S (28.1,0)	UD_CH-S (26.2,0)	UD_CV-S (23.0,0)	UD_CT-S (1.0,0)	UD_CVT-S (12.0,0)	N/A
Up-Downward Curved	UD_NC-C (20.4,0)	UD_CH-C (6.5,11)	UD_CV-C (2.0,0)	UD_CT-C (5.7,9)		N/A
Down-Downward Straight	DU_NC-S (14.0,1)	DU_CH-S (2.0,1)	DU_CV-S (2.0,0)	DU_CT-S (1.0,0)		N/A
Down-Downward Curved	DU_NC-C (2.2,0)	DU_CH-C (2.1,1)		DU_CT-C (1.2,1)		N/A
Up-Downward Repeated Straight	UDR_NC-S (21.1,0)	UDR_CH-S (10.1,0)	UDR_CV-S (12.0,0)		UDR_CVT-S (13.0,0)	N/A
Up-Downward Repeated Curved	UDR_NC-C (7.2,0)	UDR_CH-C (0.4,1)	UDR_CV-C (2.1,2)	UDR_CT-C (0.4,1)	UDR_CVT-C (7.4,5)	

写真2_2000年以降の傾斜屋根を持つ海外現代建築の類型

建築に関してやや取り残された状況にあり、海外の建築においてその表現の多彩さがみられています。例えば、写真2の表は2000年以降の傾斜屋根を持つ海外現代建築の類型表²⁾です。表の左上から右下に向かって形態が複雑化しています。この類型表は、屋根がどのような断面形状をしているのか？また、その断面形状が建築全体を覆う時にどのように変化しているのか？という視点から分析を行い、作成しています。建築の意匠表現において屋根形状の役割は大きく、多様な屋根の形態を分析し、その特徴を考察することは、今後の建築設計を考える上で有益なヒントを与えてくれると考えています。

VRを用いた住空間における屋内外の境界の曖昧性

また、従来の設計では図面と模型で検討していましたが、安価なVR環境の構築が可能となったことやBIMの普及などから、近年では建築設計の現場にVRを利用する動きも出てきています。しかし、VR空間で構築した建築物から受ける印象や寸法の把握において、実際の建物との違いがあることが分かっていますが、その違いを評価した研究はまだ少ない状況にあります。写真3はVRを用いて架空のリビング空間を作成し、室内の幅、奥行き、天井の高さ、窓の大きさや位置、庇や縁側（デッキテラス）の大きさなどの違いにより、室内と室外の境界の曖昧性がどのように変わるのかを実験

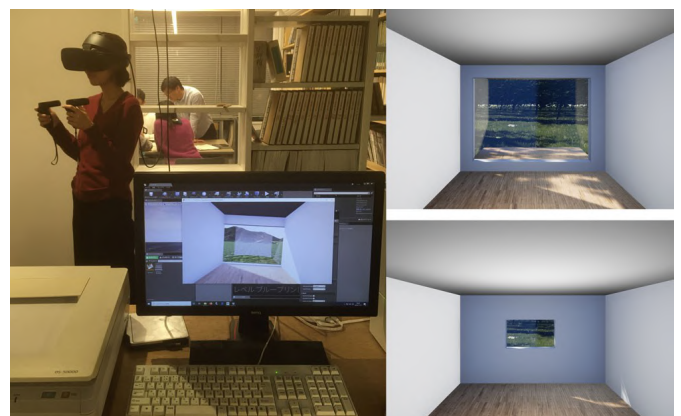


写真3_VRを用いたリビング空間における室内外の境界の曖昧性実験

している風景です（写真3）^{参3}）。これまでの建築設計では、紙面上に建物の図を描いてデザインしていましたが、今後はVR空間を利用して、実際の体験に近い状況で建築をデザインしていく様に変化していくと思われれます。VR空間での空間認識や設計プロセスに関する調査の必要性も増してくると思います。

デザインを通して豊かで新しい空間を学生達と創出する。

最後に研究室で学生達と取り組んできた設計作品を少し紹介させて下さい。写真4は鹿児島で最初に取り組んだ、マンションの一室をリノベーションするプロジェクトです。建物のXY軸とは別の座標軸を組み込んでプランニングを行った作品です。学生達は設計だけではなく、部分的にですが工事にも参加させて貰いました（写真5）。写真6は先ほどのマンションの1階に設けられた6坪のギャラリーです。吹き抜けのある小さなスペースに、径の異なる鉄パイプをA規格寸法の

離間距離でランダムに配置し、固定されたパイプでフレキシブルな展示が出来る様に試みています。写真7、8は奄美の名瀬に建てられたオフィスビルです。



写真4_Tagawa Renovation Project

奄美の高倉をモチーフとして援用しています。一部の家具を学生達と一緒に製作しています。



写真5_塗装工事_職人から指導を受ける学生

玄人から見れば、学生達による製作は質の低い素人仕事で、建築の作品性を下げるとい



写真6_6坪ギャラリー



写真7_奄美の寺子屋_外観



写真8_奄美の寺子屋_内観

う意見もあるかも知れません。しかし、学生達と共に建築に携わることによって生まれる空間も建築の一つの方向性だと信じています。

参考文献)

1. 建築写真を用いた建築における視覚的快適性の評価基準に関する基礎的研究, 柴田 晃宏, 日本建築学会計画系論文集84 巻(2019)766号, 2019.12, pp. 641-644
2. 海外現代建築における傾斜屋根面にみられる形態的表現に関する研究, 柴田 晃宏, 増留 麻紀子, 朴 光賢, 日本建築学会計画系論文集87 巻(2022)797号, 2022.07, pp. 1141-1152
3. VRを用いた住空間における屋内外の境界の曖昧性の評価実験環境の開発, 中尾有希, 柴田晃宏, 日本建築学会九州支部研究報告(熊本), pp.73-76, 2020.03

建築家派遣エコルサポート2023活動報告

「建築家派遣エコルサポート」は、小・中学校の児童を対象とした建築教育支援活動の一環として、2019年度に九州支部事業として発足した事業です。

「総合的な学習の時間」の授業に建築家を派遣し出前授業を行い、未来のある子供たちに対して建築やまちづくりへの意識を啓発することを目的としています。昨年に引き続き今年もJ I A九州支部会員およびサポートスタッフで活動しましたのでご報告します。

「総合的な学習の時間」の位置づけと発足からの経緯

小・中学校等の学習指導要領が適用される学校では2002年度から「総合的な学習の時間」がカリキュラムに組み入れられ実施されています。総合的な学習とは、子供たちが自ら学び、自発的に考える力を身につけ、よりよく問題を解決する資質や能力などを育むことをねらいとして実施されている学習活動です。これまでは外部からの教育支援活動として、様々な専門家や団体により多様に取り組みされてきましたが、J I Aとしても学校教育における建築やまちづくり学習の展開に地域の建築家として人材貢献できるものと考え発足しました。

昨年までの実施状況

2019年：自分たちの住むまちの課題を考え、理想のまちを創造して模型を製作。

2021、2022年：自分たちが利用している学校の敷地に理想の学校を創造してプレゼンテーションパネルおよび模型を製作。

活動報告

エコルサポートのカリキュラムは以下の3つを準備しており、派遣先と打合せの上決定しています。

今井 秀明（福岡地域会）



01 出前授業：スライドや模型で完成した建物を見せたり、エピソードを交えて建築設計の職業紹介を行う。（時間：1～2時間程度）

02 まち歩きガイド：歴史的なまちを散策しながら建物や史跡の紹介を行ったり、近隣を歩きまちの成り立ちやこれからについて一緒に考える機会をつくる。（時間：半日～1日程度）

03 まちづくり総合サポート：近隣を歩いたり、まちの成り立ちや歴史を学んで、ワークショップや模型製作を通して、まちづくりや家づくり体験を行う。（時間：1日～4日程度）

今回は福岡市立東住吉小学校より依頼を受け6年生を対象とした建築家派遣エコルサポートを行いました。カリキュラムは「03まちづくり総合サポート」として全4回の授業を行いましたので報告いたします。

第1回目の授業では事前打合せにより決定した課題の発表と会員によるレクチャーを行いました。今回の課題は「東住吉まちづくり隊」と題し、福岡市や東住吉の町(博多区)のよさや課題を探り、自分たちの理想の町を考えてもらうこととしました。レクチャーではまちづくりについて説明し、生徒が日頃より目になっている建物、道路、標識、照明などがまちづくりの一部になっていることを認識してもらえる様に具体例も挙げ発表を行い、生徒達に模型、プレゼンテーションパネル、地域調査レポートを作成してもらうことを伝え



中間発表の様子

ました。また、第2回目の授業迄に生徒各自で校区内の町を改めて見てもらい長所短所をまとめてもらうよう要請しました。

第2回目の授業では、第1回目授業を基に生徒達が決めたカテゴリー毎に6班に分かれレポートおよび理想の町のプランを発表してもらいました。カテゴリーは「安全・健康・交通機関・思いやり・レジャー・自然」として、各々の視点より「まちの良さ・まちの課題・こんなまちに住みたい」を題目として発表を行いました。普段何気なく歩いているまちの長所短所をレポートしてもらうことでまちの成り立ちを知ってもらい建築・まちづくりを意識化してもらう良い機会となりました。理想の町プランでは班毎の特色や具体的な案なども発表されJ I A会員が驚くようなプランもあり自由で個性的な案が出されました。この授業で会員は次回授業の模型作りに移行するためのアドバイスを行いプランがより実現できる様に調整を行いました。

第3回、第4回目授業では、J I A会員6名、サポートスタッフ6名が参加し各班の模型制作をサポート

トしました。基本的に制作は子供たちが行い、会員およびサポートスタッフは立体視が不慣れな子供たちをサポートし具現化できるように材料提案やアドバイスを行いました。短い時間での模型製作で生徒が真剣に制作する姿を横目にサポート側も生徒が発表したプランを実現させるために日頃の実務経験を活かし完成に持っていく姿勢が模型にも現れ各班で特色のある模型が出来上がりました。

第4回目授業の後半ではそれぞれ完成したレポート、パネル、模型を展示しお互いの作品を見合わせたのち、サポート側の投票によりMVPや各賞を決定し表彰を行いました。生徒達が自ら調べ、計画し、制作することで達成感を感じ総合的な学習の目標である自ら課題を見付け、考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力を育成するとともに問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てることができる充実したイベントであると感じました。



模型制作の様子



最終発表風景



模型制作の様子



最終発表風景

建築家派遣エコルサポートの今後

2019年より同校で行われている事業ですが毎年参加する建築家数名を除き、スタッフ・生徒・教員の殆どが入れ替わっていく中で継続的に活動できていることに喜びを感じるとともに建築、まちづくりを伝える重要性も高く感じます。

今後もこのように総合的な学習や学校教育の一環として取り入れて貰える活動を広げていきたいと思えます。そうすることで啓発活動につながり建築に興味を持った子供たちを増やすことで建築文化の発展に寄与できるのではと考えています。

最後になりますがエコルサポート事業にご依頼、ご参加頂いた小学校校長、職員、児童および保護者の方々、J I A九州支部会員、サポートスタッフ、各関係者の方々へ本事業にご賛同ご協力頂き誠にありがとうございました。

建築家派遣エコルサポート2023事業

「福岡市立東住吉小学校6年生総合学習サポート」

対象：6年生の1クラス

概要：「東住吉まちづくり隊」をテーマに6年生が6班に分かれてコンペ形式でそれぞれ案を発表。

単元：総合的な学習の時間(生徒が自発的に横断的・総合的な課題学習を行う時間)

日程：

準備会 6月8日(木) 10:00~11:00

会員と教員による課題打合せ

第1回授業 6月22日(木) 10:40~11:25

会員によるレクチャーと課題説明

第2回授業 7月19日(水) 10:40~12:15

中間発表、学校側で調査ヒアリングを各自行い派遣会員前で計画の発表と講評を行う

第3回授業 9月27日(水) 10:40~12:15

模型制作1日目

第4回授業 10月18日(水) 9:40~12:15

模型制作2日目と発表を行い、当日各賞の発表と講評を行う

人員：J I A福岡地域会員(6名)

福田哲也、川津悠嗣、有吉兼次、上田真樹、新田崇博、今井秀明

模型制作サポートスタッフ(6名)、担当教員(1名)、対象生徒数(33名) 計46名



自然グループ



交通機関グループ



健康グループ



思いやりグループ



安全(災害や犯罪のない町)グループ



レジャー施設グループ

木造建築に学ぶ

宮崎県は杉素材（丸太）生産量が30年連続日本一となっている。約173万m³で全国の約15%を占め、製材品出荷量も約97万m³で全国の約12%を占め全国1位となっている。一方、木材を使った住宅以外の建築となると鉄骨やRCの建築が主流となっており普及していないのが現状です。その要因の一つに中規模以上の木造建築を設計できる人、構造計算ができる人がほとんどいないのが現状です。それらを解決するには中規模以上の建築となる公共建築の木造化や民間における木造建築の必要性や魅力などを伝える必要があります。また近年ではSDGs運動を機に地球環境に優しい持続可能な材料として木材の重要性を感じているところで

このような背景のもと、建築関連団体が一緒になり木造建築のことを勉強しようという気運が高まり、2019年度からみやざき木造塾が始まった。年に数回の研修を受けることで杉の生産から製材、加工、設計、構造、施工までをしっかりと学び木造建築の拡大や魅力を伝える。受講者には宮崎県木造マイスターの資格が授与されるプロジェクトとなっている。今年で第5回を迎え内容的にもかなり充実してきた。これまでに塾生の中からウッドデザイン賞や木づくり県民会議賞、更に木造マイスターだけに参加資格があるコンペが行われ木造塾の成果も広がりを見せている。何か参考になればと思い、これまでに開催したみやざき木造塾のプログラムを紹介致します。

<第1回 みやざき木造塾2019 >

第1回 10月02日（水）<概論・工法・設計・計画>腰原幹雄 東京大学生産技術研究所 教授 team Timberize 理事長 内海彩 株式会社内海彩建築設計事務所 代表取締役 team Timberize 理事



河野 秀親（宮崎地域会）

第2回 11月12日（火）<防耐火・設計・耐火>安井昇 桜設計集団一級建築士事務所代表 久保久志株式会社東畑建築事務所

第3回 12月13日（金）<構造>佐藤孝浩 桜設計集団・team

Timberize 理事 萩生田秀之（株式会社K A P 代表取締役 team Timberize 理事



交流会の様子

第4回 1月21日（火）<木材利用・耐久性・設計・計画>原田浩司 木構造振興株式会社横島康有限会社 艸建築工房 代表取締役所長)

<第2回 みやざき木造塾2020 >

第1回 10月19日（火）<木造防耐火・設計事例>安井昇 桜設計集団、一級建築士事務所代表 辺見美津男 有限会社辺見設計代表取締役会長

第2回 11月02日（火）<木造設計>山田憲明 株式会社山田憲明構造設計事務所代表

第3回 12月06日（月）<温熱環境・設計>辻充孝 岐阜県立森林文化アカデミー准教授

第4回 1月17日（月）<木造設計総論>腰原幹雄 東京大学生産技術研究所教授

<第3回 みやざき木造塾2021 >

第1回 10月19日（火）<木造防耐火・設計事例>安井昇 桜設計集団一級建築士事務所代表 辺見美津男 有限会社辺見設計 代



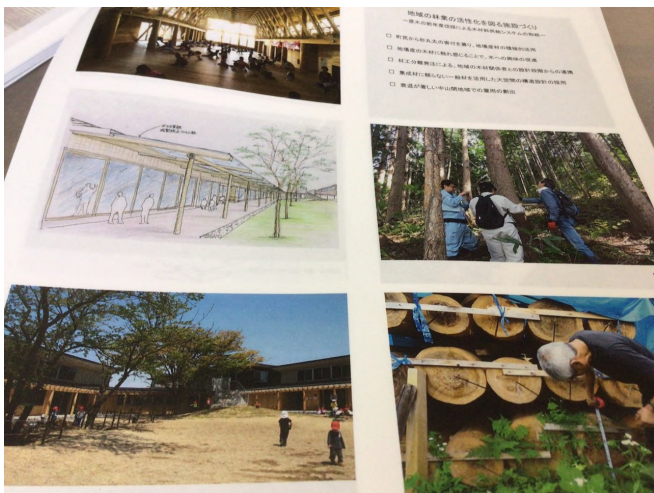
発表の様子

表取締役会長＜実践講座＋グループワーク＞都市の木造化に「可能性」を広げよう 4チーム

第2回 11月2日（火）＜木構造設計＞山田憲明 株式会社山田憲明構造設計事務所代表

第3回 12月6日（月）＜熱環境・設計＞辻充孝 岐阜県立森林文化アカデミー准教授

第4回 1月17日（月）＜木造設計総論＞腰原幹雄 東京大学生産技術研究所 教授



研修資料

＜第4回 みやざき木造塾2022＞

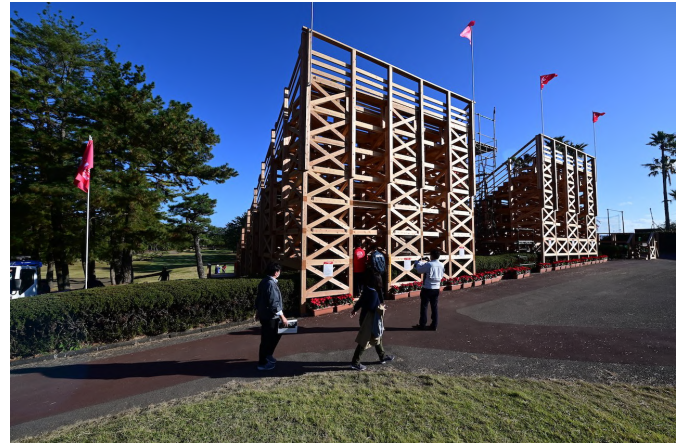
第1回 11月28日（月）＜現場視察＞新県体育館建設工事（延岡）宮崎カントリークラブ木製スタンド

第2回 12月15日（木）＜構造設計＞山田憲明 山田憲明構造事務所代表＜材料調達・流通＞三浦逸郎

第3回 1月20日（金）＜木の建築とまちづくり＞三井所清典 アルセッド建築研究所 代表＜木材調達に関するアンケート結果報告＞豊永芳恵 木材利用技術センター＜材料（JAS）＞佃賢一 宮崎県木材共同組合

第4回 2月18日（土）＜森と建築を一緒に考える＞古川泰司 ＜都市と建築の向こう側に見える森づくり＞矢房孝広

第5回 3月15日（水）＜これからの防耐火＞安井昇 桜設計集団一級建築士事務所代表 ＜木造設計の事



ゴルフ場の木製スタンド

例紹介＞みやざき木造マスター野添義二・久野奈穂子・河野秀親

＜第5回みやざき木造塾2023＞

第1回 7月31日（月）＜見学会＞児湯広域森林組合建設現場・ランバー宮崎・南九州木材市場・久保産業・都城地区製材業共同組合

第2回 8月19日（土）＜先進的な木造建築に触れる＞松本隆之 睦設計

第3回 10月17日（火）＜山の建築の未来を考える＞井上正文 大分大学名誉教授

第4回 11月24日（金）～25日（土）＜木造建築物見学会in大分＞建築フォーラム「これからの木造建築を考える」日本文理大学学生 ＜木材知識の学び直し＞青木謙治 東京大学准教授＜今後の木構造を考える



見学会の様子

>五十田博 京都大学教授

<木質構造の見学会>井上正文 大分大学名誉教授
三浦逸朗 大分文理大学教授



レクチャーの様子



第5回 1月27日（土）<先進的な木造建築に触れる
2>澤秀俊 澤秀俊設計環境<温熱環境>辻充孝 岐
阜県立森林文化アカデミー

第6回 3月2日（土）<これからの木造建築>腰原
幹雄 東京大学生産研究所教授

<実績報告>安井昇 桜設計集団一級建築士事務所
みやざき木造塾の開催は本県産材利用拡大を促進す
ると共に今後、宮崎県から多くの先進的な木造建築が
生まれ日本を代表するような地域になることを目指
し、更なる活性化につながることを願うばかりです。

建築は木造に始まり木造に終わると言われていま

す。木造塾はその奥深さを学ぶ大変良い機会だったと
思っています。

支部会員の皆さんもこの機会に木造建築に積極的に
取り組んで頂ければと願うところです。

最後に個人的なことになりますが、今年1月にタイ
トル「子育ては住まいから！」11月には電子書籍版で
自費出版しましたのでこの場をお借りしてご紹介いた
したいと思います。

これまでの設計活動を通じて一般社会や建築界に対
して何かお役に立てればと思ひ執筆し、人生の節目の
記念誌になるように74歳の誕生日に合わせての出版致
した次第です。

今回のみやざき木造塾は木造建築と子育てに関する
書籍出版の後押しになったものと思っています。

来年度からは神奈川県に移住することになりブルテ
ン「とびっくす」は九州支部に在籍する最後の原稿執
筆となりました。このような機会を与えていただき大
変嬉しく思います。この場をお借りしてお礼申し上げ
ます。

長い間本当にありがとうございました。感謝



本の表紙

ローマで出合った光

忘れられない「光」がある。

もう20年以上前になりますが、私の初めての海外旅行は大学の卒業旅行で行ったイタリア・ローマだった。男二人旅。共に旅をする友人と話し合っ、複数の都市を巡るのではなく一週間ローマの建築を見尽くそうということになった。

やはりローマといえば、何を置いても真っ先に見たかったのがパンテオン。まさに息をのむとはこのこと。その感動は言葉にならなかった。天井に空いた直



パンテオンのドーム



山崎真司（大分地域会）

径9mの開口から差し込む光が、その感動を引き出していることは明白であるが、創造していた神秘的な光というよりは、ドーム内部の採光確保と光の移動による時間の変化を把握するための、どちらかという現実的な光に感じられた。命題の光はこの光ではない。

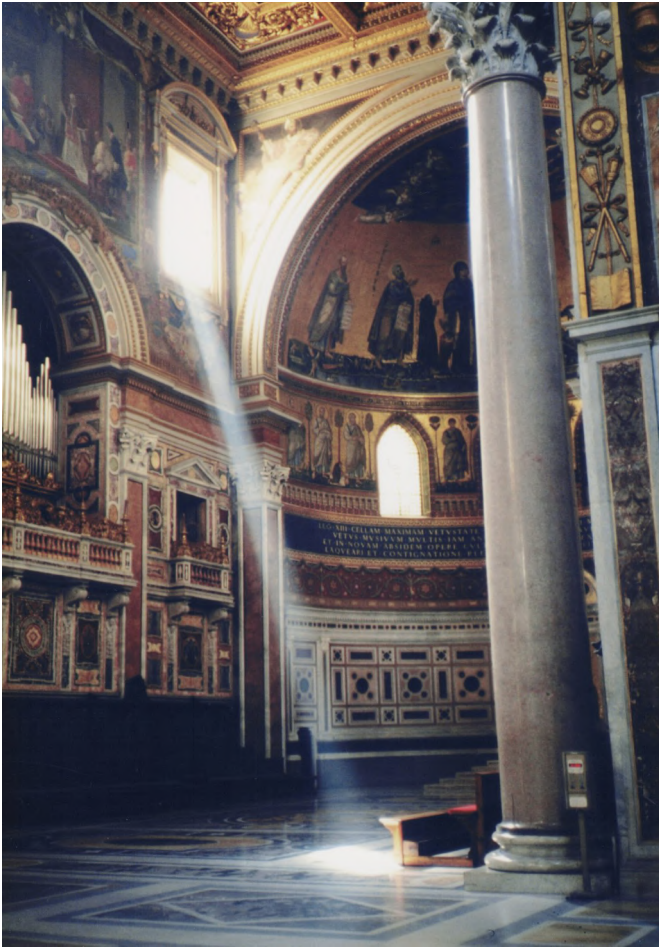
このパンテオンを皮切りに、コロッセオやテンピエットをはじめ名所はもちろん、手当たり次第に教会建築を巡った。

そしてローマ滞在数日後、ようやくその「光」に出合うことになる。場所はサン・ジョバンニ・イン・ラテラーノ教会。教会の前には、海外の団体旅行者が賛美歌を歌っている。それもかなり上手い。これが賛美歌なのかと、しばらく聞き入っていた。

ラテラーノ教会は、これまで訪れた教会建築に比べ規模も大きく、ローマで最も古い教会建築である。建物に入り身廊から中央交差部に来たとき、周歩廊の角にある柱横のベンチに、一筋の光がスーッと差し込ん



賛美歌を歌う団体旅行者と聞き入る旅行者



ベンチに差し込む一筋の光(サン・ジョバンニ・イン・ラテラーノ教会)

でいた。恐らく長い年月この場所に置いてあるだろう古いベンチに、あたかも誰か座っているような錯覚に陥った。更に言えば、年配のご婦人が杖を片手に座っている姿が見えたような気がして、しばらくその場から動くことが出来なかった。もちろん霊的なものではなく（見えたこともないが）、そんな気がしたのだ。明らかにパンテオンのそれとは違う、神秘的な光であった。

当時はまだデジカメが普及しておらず、一眼レフなんて高価な物も持ち得ず、父からのお下がりフィルムカメラで目に焼き付けるようにシャッターを切った。

ここまでに至るローマの街並みや訪れたいいくつかの教会、多様な色彩のステンドグラス、祭壇や外からか

すかに聞こえる賛美歌など複合的要素によって高揚し、そう感じたのだと思った瞬間「これが建築なのか！」とハッとした。漠然と建築の世界に飛び込もうとしていた自分に、選んだ世界は想像していたよりも遙かに深く幸せな世界だと気づかせてくれた。同時に先が見えない高い壁と建築がもたらす可能性の大きさに武者震いのような感覚を覚えた。

振り返れば、この瞬間が本気で建築にどっぷり浸かろうと決意した瞬間だったのかもしれない。

しかし、この旅は良い思い出ばかりではない。初の海外旅行、それなりの洗礼もしっかり受けた。ナヴォーナ広場を歩いていたときのこと、陽気なイタリア人二人が「ナカタ〜！」と言いながら手を挙げて近づいてきた。当時サッカー日本代表の中田英寿がローマに所属しており、その人気と知名度を利用して日本人を見るなり声を掛けてきたのだ。ローマに来て数日経ち、何となく緊張感もなくなり気分も高まっている時だったので、ついつい手を挙げてハイタッチをしてしまった。

手を合せた瞬間だった。お互いの手が当たったかと思うといつの間にか腕を掴まれ、どうあがいてもその太い腕を振り払うことが出来なかった。友人もやられたかと振り返ると、いつの間にか隣から姿が消え数十m先で「走れ！」と叫んでいる。彼は陸上部短距離経験者だった。

時既に遅し。

友人の腕を掴み損ねた大男が私のもう一方の腕を掴み、二人がかりで腕にミサンガを巻き始め、一番高価な紙幣（当時はリラ。日本円で7千円くらいだったろうか）を出せとジェスチャーしている。

やられた・・・

しかし、初の海外旅行にビビっていたせいも、ポケットにはスラれても良い用に一番安い紙幣（日本円で70円くらいだったろうか）を入れていた。通じもしない日本語で怒鳴ったが通じるはずもなく、こちらもジェスチャーで一番安い紙幣を取り出し、これしかないからこれで勘弁してくれと必死に訴えた。結果、70円の損害で事なきを得たが、ミサンガはすぐに切り捨てた。中田英寿氏に罪はないが、今でも彼を雑誌などでみかける度に苦い思い出が脳裏をよぎる。今ではこれも良い経験と思えるし、むしろ被害という意味では可愛い方だ。

やはり旅は疲れても歩いて巡るに限る。想定外のことが起こるのも旅の醍醐味。通りがかった本屋で、読めないイタリア語の中から必死に建築本のコーナーを探しピラネージの図集とベルニーニの作品集を購入した。分厚いベルニーニの作品集は、文字が読めなくても図面を読むのが楽しかった。帰国したら真っ先にイタリア語辞典を買い地道に翻訳するぞと意気込んだが、未だにうちにイタリア語辞典はない。

道中様々な住居の壁や、工事の仮囲いなどに多数のだまし絵が描かれているのを見つけるのも楽しみの一つになっていた。建築をキャンパスに描くフレスコ画の技術力とその美意識の高さに脱帽です。

そして、この旅の最期にも思いがけない「光」が待っていた。帰りの機内、夜中アラスカ上空を飛行中トイレに立ったとき、窓際で立って外を眺めている女性が静かな声で「見た？あそこに見えるのよ。」と教えてくれた。

そう、オーロラだ。

テレビで見るとような綺麗なカーテンではなかったが、明らかに空が美しく輝いていた。十数秒ではあったが、旅の締めくくりに最高の「光」を体験することが出来た。

今回執筆するにあたり、大切な記憶と感動を改めて整理する良い機会となりました。早速イタリア語の辞書を・・・。



建築にだまし絵(像の背面の壁もだまし絵。実際の開口部は3ヶ所)



蓑田 朋章（鹿児島地域会）

JIAに入会しました蓑田と申します。

大学卒業後、2009年から2017年まで日建設計に勤務し、生まれ育った鹿児島に帰ってきました。父が主宰する設計事務所で、スタッフ6名と共に働いています。以前の会社では、大学・研修所・R&Dなど、帰ってきてからは、医療施設・事務所・庁舎などを設計しています。規模の大小に関わらず、公共建築を設計できるようになったことで、より充実した日々を送れていると思います。

今年の9月まで伊仙町役場新庁舎の現場監理で徳之島に常駐していました。少々時間がかかる印象のある公共建築ですが、それまで民間の仕事しかしたことがなかった自分にとっては新鮮でした。トップの意見ひとつで何事も決まるのとは対照的に、様々な意見がいろんな方向から出てきて右往左往します。その度に「そもそも自分がやりたいことは何か」を自問自答しながら進めることが出来たと思います。結構贅沢な時間です。来年から始まる2期工事でもう一度常駐します。完成は再来年です。規模のわりに長いプロジェクトです。36歳でこのプロジェクトを始めた頃は、30代最後のプロジェクトだと思っていましたが、40歳になってしまいました…。元々うちの事務所の仕事は民間主体でしたが、入札でとる公共の仕事も続けていました。これからも、そのバランスを変えずに続けていくと共に、公共民間・入札特命問わず、自分がつくりたいと思う建築をつくり続けられる設計者でいられるように研鑽を積んでいきたいと思っています。

JIAを通して地域の建築文化へ少しでも貢献していければと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



伊仙町新庁舎

Photo イクマサトシ(テクニスタフ)



林田 大晟（福岡地域会）

ジュニア会員としてJIAに入会しました林田大晟と申します。

佐賀大学大学院を修了後、株式会社マトリックスに入所し、現在は公共建築を中心に設計チームの一員として業務に携わらせて頂いております。

JIAの存在は大学時代にデザインレビューの実行委員会をしていたことで知りました。その翌年はデザインレビューの本大会に出場し、大学の垣根を超えて建築家や同世代の方々とそれぞれの思考や思想をぶつけ合う中で建築の持つ可能性が広がっていく様子にとっても興奮したことを覚えています。そうした時間というのは今でも純粋に楽しいものであり、デザインレビューは建築を志す一つのきっかけとなったように感じます。

私自身は建築を志す者であると同時に山を愛好する者であり、大学時代から山岳と建築の2つの世界を往来してきました。山の活動というのは基本的に衣食住をザックに詰めて自然を歩き、山野や岩盤、雪上に幕を張って一夜を過ごすというものです。そういった経験を通して次第に人間本来の営みの有り様や自然現象、環境問題、地球を構成する物質へと興味を持つようになり、いずれ大自然に身を投じる中で培ってきた感覚をどこか設計で活かせないかと燻っております。しかし何事においても言えるようにまずは基礎の習得が必要です。現在は入所から4年が経ちますが、実務に関してはまだ何も成し得ていません。頂いた仕事と向き合いながら社長や先輩方の仕事を観察し、日々の中で建築設計を学ばせて頂く若手以前の赤子のような状態です。

今回このような立場であるにも関わらずJIAに入会したのは、目の前の仕事という「木」に対し、日本や世界全体という「森」を知りたいと思ったからです。現在の建築界は何を目指しているのか、どのような流れにあるのか、また全体に対する目の前の業務の位置付け、自分の判断や選択はどうか、そういったことをJIAを通して俯瞰し、幅広い視野の獲得と自己の鍛錬に繋げられたらと思います。よろしくお願いたします。



北アルプス大天井岳から拝む槍・穂高連峰

JIA九州支部 北福岡地域会の活動を通して

JIA九州支部及び北福岡地域会におかれましては日頃より御指導、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

隆テック株式会社は、1997年に大分県別府市で創業しました。

弊社は建物を支える為に重要な役割をもつ基礎工事（地盤調査・地盤改良工事・各種杭工事）に関わる事業を主に九州圏内で展開しております。地質調査機械等（ボーリングマシン・全自動スクリーウエイト貫入試験機）を使い地盤の強度を調査し、それに伴い弊社設計業務により、地盤補強工事等を自社施工にて、設計・管理・施工を一貫して行っております。

設計・管理・施工まで手掛ける専門会社として、すべての段階で協力し、要件と予算に合わせて、柔軟に対応し、良い品質と効率を提供しております。

物価高騰、人手不足、エネルギー自給率の低さなど厳しい状況のなかではありますが、建築の分野で課せられた社会的役割を果たすためにも、一層努力を重ねてまいります。

JIA協力会には大分地域会、北福岡地域会、福岡地域会の順で入会させていただきました。協力会に参加することで、会員の皆様との交流や情報共有を通じて、業界の最新の動向や技術について学ぶことができました。また今後の課題や機会についてのアドバイスや情報を得ることができ、イベントに参加することで、新しい発見が多くありました、私自身、全国大会（沖縄、常滑）に参加させていただきました。昨年のJIA建築家大会in沖縄では「首里城の輪郭 - 失われた

藤川 拓也 （北福岡地域会協力会）

ことで見えてくるもの」では、多様性、持続可能な開発、保存再生について議論が交わされ、今年度のJIA建築家大会in常滑では「環（めぐ）る」というテーマのもと、他の街にはない独自性の高い地域資産を継承し、街をよみがえらす為の知恵を考えられており、建築に対して考えが深まったように思います。

2023年は、コロナウイルスとの共存、社会経済活動の正常化が一段と進みました。一方、ロシア・ウクライナ情勢など地政学的リスクが顕在化し、世界が大きく揺れ動きました。こうした動きは、エネルギー、素材、食料などあらゆる供給網が不安定化し、諸物価の高騰に直面しました。コロナ禍から完全に開放された訳ではありませんが、例会も開催されるようになり、正会員と協力会員の交流も増え、大変うれしく思っております。

協力会として、正会員の方々との有意義な時間を過ごし、情報交換を行い、より優れた建築に繋がれるよう微力ながら今後貢献していきたいと思っております。

2024年の全国大会は大分県別府市で行われるので、地元開催でもあり、とても楽しみにしております。最後になりますが、JIA九州支部及び北福岡地域会のますますの発展を祈念いたしますとともに各社のご隆盛、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。

今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

報告事項			
③ <常設委員会> 活動報告			
1	総務委員会	下山道男	苦情対応WG:川津悠嗣 知財WG:佐々木 信明
9/27 第3回委員会 ・入退会審査 ・沖縄支部準会員・協力会員入会申込書改正案について ・2023年度選挙委員会構成について ・正会員の異動に伴う「専門性」について ・正会員の資格要件について			
苦情対応WG:		報告事項なし	
知財WG:		報告事項なし	
2	財務委員会	下山道男	
9/19 第2回委員会 ・災害対策の改定内容について ・事業活動助成について（締切10/31） ・遊休財産の保有額と限度額について ・消費税インボイス制度の導入と事務取扱いについて			
3	職能・資格制度委員会	佐々木 信明	
・9/27 「資格制度のこれからを考える・プレビュー」開催 ※10/16(月)18:00~20:00シンポジウム「資格制度のこれから」を考える			
4	業務委員会	前田哲	建賠WG:田中康裕
<p>■業務報酬基準改定に関するパブリックコメントの募集 業務報酬基準の改定に関するパブリックコメントが下記国交省ホームページに公示されました。 『建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準の改定案に関する意見募集について』</p> <p>◎2023年10月5日受付開始、11月4日締切です。 ◎JIA本部ホームページにも掲載いたします。 ◎【国交省ホームページ】 https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=155230716&Mode=0</p>			
5	広報委員会	川津悠嗣	支部は川津悠嗣、有吉兼次
8/ 2.9/6熊本地震web、8/3.9/12本部広報委員会、8/31広報会議 9/15支部長漫遊記in佐賀 9/26本部広報委員会リーフレットWG、9/27熊本地震web、10/4本部広報委員会、10月初旬ブルテン発行予定			
6	教育委員会	田中康裕	
報告事項なし			
7	国際委員会	水本浩二	
<ul style="list-style-type: none"> ・9/29 第6回国際委員会 (KIA訪日、ARCASIA関連、支部助成、GC賞、JIA大会常滑IPFの協議、ほか全11議題) ・10/3、10/6、10/13 JIA常滑大会IPF準備会議 			
8	CPD評議会	田中康裕	
9月29日評議会開催			
9	建築家資格制度実務委員会	佐々木寿久	
<ul style="list-style-type: none"> ・9/27 「資格制度のこれからを考える・プレビュー」開催 ※10/16(月)18:00~20:00シンポジウム「資格制度のこれから」を考える 			
報告事項			
④ <全国会議> 活動報告			
1	JIA環境会議	古森弘一	気候変動対応WG:福田展淳
9月11日に環境会議開催 →:福田展淳さん代理出席しいただきました→報告がありませんでした			
2	JIA保存再生会議	柴田真秀	
9月28日に令和5年第1回保存再生会議がリモートで開催されました。八代厚生会館の存続の要望書の九州支部長との連名は賛成頂きました。			
2-2	JIA保存再生会議	文化財修復塾	田島正陽
報告事項なし			
2-3	JIA保存再生会議	近現代建築物緊急	調査ユニツ
報告事項なし			

3	JIAまちづくり会議	松島逸人	<ul style="list-style-type: none"> 9/28(木)に、第4回まちづくり会議をWEB開催。 今秋の建築家大会における2企画について協議。 ①10/25 事前週間に公開シンポジウムをWEB開催。 進行等詳細を協議、確認。 ②11/9 常滑市内のまち歩きのを開催。 夜は反省会を開催。 予算や日程、場所等を協議(詳細は、10月に現地確認をして最終決定の予定)。
4	JIA災害対策会議	林田直樹	9/20 災害対策会議 11/10全国大会災害対策シンポジウム開催予定 原田会員登壇予定
5	JIA建築相談連携会議	有吉兼次	10月24日WEB会議予定
5-2	JIA九州支部建築相談委員会:	有吉兼次	8月1日から10月61日は下記の相談対応を行いました。 ○9月28日福岡 一般 築42~3年でリフォーム済みの物件を購入したが悪臭など不具合箇所あり。補修内容の調査報告書を確認してほしい
6	住宅等連携会議	佐々木寿久	<ul style="list-style-type: none"> 9/25 住宅連携会議インタビュー 10/5 シンポジウム(10/12)リハーサル ※10/12(木)18:00~20:00 シンポジウム「建築家、風土をデザインする」
6-2	住宅等連携会議 (小規模事務所のBIM推進)	佐々木寿久	報告事項無し
6-3	住宅等連携会議(障害者の居住にも対応した住宅の設計ガイドラインに関する検討会)	佐々木寿久	報告事項無し
報告事項			
⑤ <その他>			
1	全国学生設計コンクール実行委員会	池浦順一郎	報告事項なし
2	職責委員会	松山将勝	報告事項なし
3	懲戒審査委員会	佐々木 信明	報告事項なし
懲戒			
⑥ <特別委員会> 活動報告			
1	オンライン_リモート対応や環境整備に特化した特別委員会	村上明生	報告事項なし
2	カーボンニュートラル特別委員会	古森弘一	報告事項なし

支部事業委員会報告

教育支援委員会

1	建築塾WG	佐々木寿久		
	報告事項なし			
2	デザインレビューWG	池浦順一郎		
	報告事項なし			
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾		
	報告事項なし			
4	建築家派遣（エコルサポート）	福田 哲也		
	9月27日、東住吉小学校にて総合学習授業内の模型作成サポートを行った。次回10月18日に2回目の模型作成を行い、そこで完成した模型の講評会も同時に開催し、PTAの方々も見学予定である。			

活動支援委員会

1	収益事業WG	川津 悠嗣		
	報告事項なし			
2	JIAサポートWG	川津 悠嗣		
	報告事項なし			
3	木活（モクカツ）WG	松島 逸人		
	報告事項なし			
4	25年賞WG	下山 道男		
	2023年度「JIA25年建築選」登録について、九州内5件分の方向書を各地域会で審査を行い本部へ送った			
5	九州建築新人賞WG	松山 将勝		添付資料 1
	九州建築新人賞9/1応募開始。応募締め切り10/31			
6	ケンバイWG	田中康裕		
	報告事項なし			

報告事項			
③ <常設委員会> 活動報告			
1	総務委員会	下山道男	苦情対応WG:川津悠嗣 知財WG:佐々木 信明
10/25 第5回委員会・入退会審査・業務委託及び助成金・補助金関連のコンプライアンス強化について ・JIA「本部」の事業活動の見直しについて 12/27 第6回委員会・入退会審査・教育委員会TF名称変更および委員追加について・フェロー会員推薦について			
苦情対応WG: 報告事項なし			
知財WG: 報告事項なし			
2	財務委員会	下山道男	
11/21 第3回委員会・「JIA事業活動助成」審査 1. 会員への謝礼には助成しない 2. 新規の事業への助成制度である 3. 会員外の参加が必要 4. 助成率も検討 5. 今後教育（小学生、中学生）を対象とした助成金のあり方を協議する			
3	職能・資格制度委員会	佐々木 信明	
10月23日(月)職能・資格制度委員会、本部建築家資格制度実務委員会 合同委員会開催 16:00-18:00 オンライン →主な議題: 登録建築家制度について、登録建築家制度の勧誘について 他 JIA 建築家大会2023東海（常滑） ・プレイベント 10月16日 「資格制度のこれからについてのを考える」 18時～オンライン開催 ・大会当日: 11月10日 「西尾市生涯学習センターコンペ山本理顕さんのお話を受けて」開催			
4	業務委員会	前田哲	建賠WG:田中康裕
報告事項なし			
5	広報委員会	川津悠嗣	支部は川津悠嗣、有吉兼次
10/27.11/27熊本地震記録誌WEB編集会議、11/2.12/8本部広報委員会WEB会議、12月末 プルテン発行予定			
6	教育委員会	田中康裕	
10月23日、12月4日委員会開催			
7	国際委員会	水本浩二	
・10/20 第7回国際委員会 (ARCASIA関連、JIA大会常滑IPFの協議、ほか全5議題) ・10/24、10/27、10/30、11/1 JIA常滑大会IPF準備会議 ・11/10 JIA常滑大会IPF開催 ・11/17 第8回国際委員会 (ARCASIA関連、GC賞ウェビナー、KIA大会、UIAカンファレンス)ほか全9議題)			
8	CPD評議会	田中康裕	
10月30日、11月27日委員会開催			
9	建築家資格制度実務委員会	佐々木寿久	
12月上旬: 本年度更新対象者に更新手続きハガキの送付開始 10月23日(月)職能・資格制度委員会、本部建築家資格制度実務委員会 合同委員会開催 16:00-18:00 オンライン →主な議題: 登録建築家制度について、登録建築家制度の勧誘について 他 JIA 建築家大会2023東海（常滑） ・プレイベント 10月16日 「資格制度のこれからについてのを考える」 18時～オンライン開催 ・大会当日: 11月10日 「西尾市生涯学習センターコンペ山本理顕さんのお話を受けて」開催			
報告事項			
④ <全国会議> 活動報告			
1	JIA環境会議	古森弘一	気候変動対応WG:福田展淳
11月9日(木)16:00～18:00常滑にて環境会議が行われました。 来年度に向けた体制づくりなどが議論されました。			
2	JIA保存再生会議	柴田真秀	
11月10日全国大会にて開催、WEBにて参加、文化財ドクター派遣事業他各支部の報告あり、文化財修復塾の新たな展開を田島さんから説明があった。			
2-2	JIA保存再生会議 文化財修復塾	田島正陽	別添資料 1
11月11日常滑大会で修復塾ツアーに参加。豊田市助足の伝建地区重要文化財の保存工事など。 1 2月10日門司港駅舎（重文）近辺で現地講習→報告書（別添資料P4-1、P4-2）			
2-3	JIA保存再生会議 近現代建築物緊急 調査ユニットWG	松島逸人	
報告事項なし			

3	JIAまちづくり会議	松島逸人	添付資料2、3
	<ul style="list-style-type: none"> 10/18 ZOOM会議 全国大会における2つの事業の打合せ シンポジウム 現地でのまち歩き 10/20 常滑市で事前打合せ 市役所で行政への依頼 コースの現地下見視察 10/25 全国大会のプレイベント ZOOM シンポジウム「脱成長とコモンを捉えた建築とまちづくり/地球環境と幸せを考える」を開催。 講師：五十嵐敬喜、藻谷浩介 10/26 ZOOM会議 全国大会における現地での市民とのまち歩きの運営会議 11/6 ZOOM会議 全国大会における現地での市民とのまち歩きの直前会議 11/9 全国大会で市民と『まちあるき 常滑の「たから」と「あら」を考え、提案しよう』を現地開催。 		
4	JIA災害対策会議	林田直樹	
	11/10 全国大会シンポジウム開催 12/4 第4回災害対策委員会		
5	JIA建築相談連携会議	有吉兼次	
	活動報告なし		
5-2	JIA九州支部建築相談委員会：	有吉兼次	
	11月1日から12月12日は下記の活動を行いました。 ○11月30日福岡 相談事例報告例会		
6	住宅等連携会議	佐々木寿久	
	報告事項なし		
6-2	住宅等連携会議 (小規模事務所のBIM推進)	佐々木寿久	
	報告事項無し		
6-3	住宅等連携会議(障害者の居住にも対応した住宅の設計ガイドラインに関する検討会)	佐々木寿久	
	報告事項なし		
報告事項			
⑤ <その他>			
1	全国学生設計コンクール実行委員会	池浦順一郎	
	11月15日(水) 実行委員会会議		
2	職責委員会	松山将勝	
	報告事項なし		
3	懲戒審査委員会	佐々木 信明	
	報告事項なし		
懲戒			
⑥ <特別委員会> 活動報告			
1	オンライン_リモート対応や環境整備に特化した特別委員会	村上明生	
	報告事項なし		
2	カーボンニュートラル特別委員会		
	カーボンニュートラル特別委員会は「JIA環境会議」に気候変動対応WGとして継続 担当者は福田展淳(ふくだひろあつ)氏		

支部事業委員会報告

教育支援委員会

1	建築塾WG	佐々木寿久	
報告事項なし			
2	デザインレビューWG	池浦順一郎	
<ul style="list-style-type: none"> ・10月20日（金）実行委員会会議 ・12月5日（火）実行委員会会議 ・11月4日（土）実行委員会会議 ・11月21日（火）実行委員会会議 			
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾	
DR社会人MTG（11/4）を踏まえ募集要項作成中			
4	建築家派遣（エコルサポート）	福田 哲也	
10月18日東住吉小学校エコルサポート最終模型製作サポートを行った。完成後各班のプレゼンテーションもありサポート会員全員で審査をし、全班に賞を与えた。改めて報告書提出する予定。			

活動支援委員会

1	収益事業WG	川津 悠嗣	
報告事項なし			
2	JIAサポートWG	川津 悠嗣	
報告事項なし			
3	木活（モクカツ）WG	松島 逸人	
<ul style="list-style-type: none"> ・11/7 第1回 大人の寺子屋を開催。 講師：青木謙治先生（東京大学） ・11/18 モクヨンビル見学会 in 荻岐 天候不順で延期。 ・11/20 第2回 大人の寺子屋。 講師：五十田博先生（京都大学） 講師の都合で延期。 			
4	25年賞WG	下山 道男	
報告事項なし			
5	九州建築新人賞WG	松山 将勝	
応募数42作品、11月14日1次審査、10作品が2次審査へ。来年1月末～3月初旬に現地審査予定			
6	ケンパイWG	田中康裕	
10月24日、11月22日WG開催 12月11日（月）ケンパイセミナー開催 17時30分～19時 「消費者保護に伴う建築家の責任 顧問弁護士から学ぶ」			
10	JIA建築家大会2024 別府	佐々木 信明	添付資料 4
開催日：2024年11月28日（木）・29日（金）・30日（土） 開催地：大分県別府市 別府国際コンベンションセンター（ビーコンプラザ） ※九州支部会員の皆様には大会へのご協力よろしくお願い致します 12月6日第9回実行委員会実施、12月16日第10回実行委員会実施（本日の実行委員会の資料をご確認ください） 大会概要を添付しています→各地域会の会議時にお配りください。 添付資料4（添付資料の9ページ）			

活動スケジュール

○9月

- 12日：第3回北福岡地域会役員会
- 16日：日韓合同学生WS中間講評会
- 22~23日：建築塾IN指宿
- 。。29日：第4回北福岡地域会役員会

第3回北福岡地域会役員会

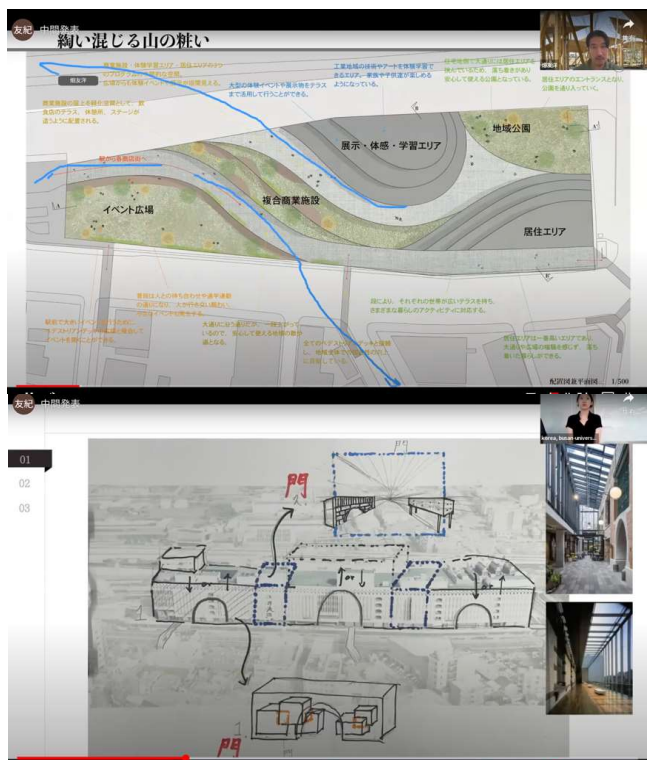
- 日時：令和5年9月29日金曜日18:30-20:00
- 場所：TKP小倉駅前カンファレンスセンター 9階
- 参加：服巻、三迫、永澤、松島、高濱、杉野、戸村、金子、塩釜
- 報告事項
 - ・日韓学生WS 本番段取りについて最終協議

第3回北福岡地域会役員会

- 日時：令和5年9月12日火曜日18:30-20:00
- 場所：ハコガシ mini 2 1号室
- 参加：服巻、熊谷、三迫、松島、高濱、杉野、戸村、塩釜
- 報告事項
 - ・日韓学生WS 本番段取りについて協議
 - ・建築家大会2024別府について報告
 - ・福本朋広氏入会申込報告

日韓学生WS中間講評会

- 日時：令和5年9月16日土曜日9:45-17:00
- 場所：ZOOM
- 参加：日韓学生13チーム・JIA他
- 報告事項
 - ・日韓学生13チームによるプレゼンテーション
 - ・畑友洋氏、尾道先生、岩下先生による指導



活動スケジュール

○10月

5日：児童絵画展審査会（建築士事務所協会・JIA賞）

7~9日：日韓合同学生WS

日韓合同学生WS

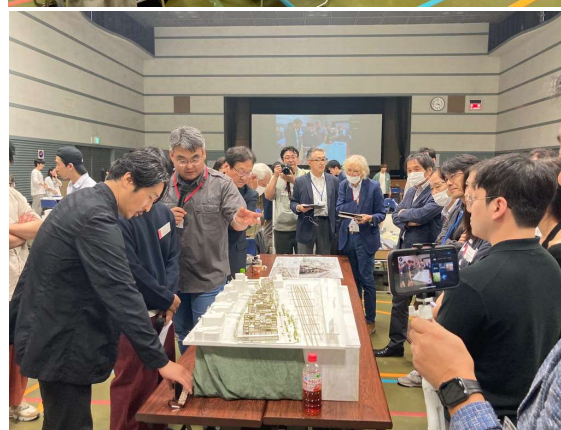
■日時：令和5年10月7日土曜日~8日日曜日

■場所：JICA九州

■参加：132名(日本学生・講師63名+韓国学生・講師50名+JIA他17名+松山支部長+畑友洋氏)

■報告事項

- ・4年ぶりの対面開催
- ・韓国から韓国建築家協会釜山支部長も参加・10月7日は畑友洋氏による講演会「空間から認識へ」を開催、その後各チームの発表が行われた。
- ・学生たちは徹夜で手直し、ブラッシュアップを行い、10月8日に最終講評会を開催
- ・最終講評会后、日韓学生の交流会を開催
- ・日韓の先生方との懇親会も開催した
- ・久々の対面開催で有意義な時間となった



日韓合同学生WSエクスカーショ

■日時：令和5年10月9日月曜日 9:00-15:30

■場所：北九州市内バスツアー

■参加：韓国学生・講師・KIA会長・JIA会員4名 計54名

■報告事項

・北九州市立美術館～市立図書館～小倉城庭園～小倉城～九州工業大学（製図室・記念講堂・鳳凰会館・GYM LABO）～若戸渡船～若松バンド～戸畑駅にて解散

・韓国学生向けに建築文化ツアーを開催した



2023年四季の会

■2023年10月7日(土)12:00～14:00
 ■場所: ホテルニューオータニ「大観苑」
 ■参加人数: 14名
 四年ぶりの開催となりました四季の会。久しぶりの先輩方との酒の席でしたが、皆さん変わらずJIAへの思いが深く感銘しました。建築に関する考え方・最近の建築事情など話は尽きませんでした。今回お昼の時間としましたが、お昼の方がゆっくりとお話が出来るそうです。また来年、楽しみにしています。



四季の会の様子

福岡建築倶楽部 ゴルフコンペ

9月21日雷山ゴルフ倶楽部で第30回福岡建築倶楽部ゴルフコンペが開催されました。登録者63名 参加者60名で17組で8時より始まりました。福岡地域会正会員4名協力会8名が参加しました。JIAが幹事会のため、コンペ準備、受付、表彰式司会等を務めました。

九州ホーム&ビルディングショー2023

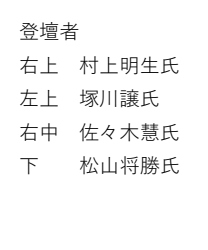
9月26日27日マリンメッセ福岡で開催された九州ホーム&ビルディングショー2023講演会に福岡地域会から4名登壇しました。講演会会場は満席で大盛況の講演会となりました。



パンフレット



会場の様子



登壇者
 右上 村上明生氏
 左上 塚川謙氏
 右中 佐々木慧氏
 下 松山将勝氏



福岡地域会役員会 (第4回)

■日時: 2023年9月30日(土曜日) 17:00～18:30
 ■場所: JIA九州支部事務局
 ■参加人数: 出席者 11名 ・ 委任状 5名
 第3回役員会議事録確認
 ■審議事項
 特になし
 ■協議事項
 1.選挙について 2.全国大会について 3. 5.その他
 ■報告事項 1. 会長報告 2. 九州支部長報告 3. 事業室報告
 4. 企画運営室報告
 5. その他



役員会の様子

【支部長漫遊記in SAGA】

開催日：2023年9月15日

対面による開催

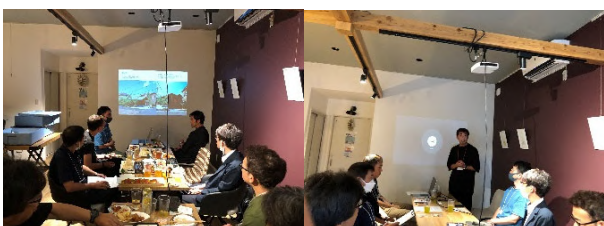
登壇者：佐賀地域会より2名、会員外より3名

JIA九州支部：松山支部長、佐々木信明副支部長

有吉広報委員参加

佐賀で最後の支部長漫遊記

詳細はブルテンにて報告



【支部役員会及び建築塾参加】

開催日：2023年9月22日

開催地：指宿

建築塾は中間レクチャーに参加



【九州・沖縄設計4団体セミナー・懇談会参加】

開催日：2023年10月5日

開催地：ANAクラウンプラザホテル福岡



■2023年度 第3回例会

日時 2023年7月18日（火） 18:15～19:30
 場所 J:COMホルトホール大分303会議室
 出席者 10名
 JIA会員 出席 10名、委任状 11名（21/21）
 協力会員 11名、一般 3名
 議事録作成者 一宮嘉宏
 議事録署名人 後藤靖二

◆内容

1.確認事項 高橋幹事
 出席者人数の確認を行った。
 会員数21名の内、出席者総数10名（委任状による出席者数11名含む）、欠席者0名により、例会が成立する。

2.会長挨拶 重田会長

3.審議事項
 ○支部関係
 ①JIA建築家大会2024 九州大会開催地について 重田会長
 6/26 第1回実行委員会、7/10 臨時会員ミーティング内容の説明報告と大分開催に関し審議を行いました
 会員からの意見

- ・責任重大な催しに対して、マンパワーで劣る部分があるので心配
- ・会員全員の協力は得られるか心配
- ・大分地域会のキャパシティを超える作業はできないので、開催に伴う条件をしっかりと提案・審議し行わなければならない
- ・規模感や内容がはっきりしていないので不安がある
- ・大分地域会が協力する内容の精査が必要。担当人数も含め協力体制の構築が必要
- ・大分で行われる事は光栄な事。先輩会員が積み上げてきたものから現在の大分地域会の取組が今回大分が候補地に挙がった事
- ・今回の審議での票決は厳しいのでは。委任による票決は横暴な部分もあると感じるので、今回欠席された方に対しては再度説明し、個々に賛否を問う方が良いと思う
- ・過半数の賛成を持って協力し、反対意見を尊重し決定していただきたい
- ・執行部の意向などなのか？
 賛成・反対意見もあり執行部としても意見が分かれているので
 会員意見を尊重し判断する

今回の審議で『大分地域会で対応可能な内容について継続検討を行う前提で、大分県開催についての賛否』の形で、出席者と書面表決者による票決（出席者10名、書面表決5名）

- ・賛成 11名
- ・反対 4名

本決議により条件付きで大分県の開催地について承諾することとする。ただし、大分地域会で対応できることの整理・検討を行い、その内容を条件とする。また今回の表決に参加していない会員の意見も確認する。

4.報告事項
 ○支部関係 重田会長

①地域交流会、支部役員会（長崎県）
 重田会長、竹宮副会長が参加し他県との交流、意見交換を行った

②九州建築塾inいぶすき（鹿児島県）（9/21（木）～23（土））
 （9/23支部役員会同時開催）
 2泊3日で行われる建築塾参加者への補助を検討中。8月例会で審議予定

③宮崎地域会公開例会in延岡参加（延岡城・内藤記念博物館）
 7月1日に行われ、重田会長が参加。報告がありました

○地域会関連 重田会長
 ①協力会入会審査中
 佐伯広域森林組合様、桐井製作所様、孝洋商事様からの協力会員入会申込があり、現在支部にて審議中の報告

②大分県建築士事務所協会総会懇親会参加
 6月23日に開催された事務所協会総会懇親会に参加した内容の報告がありました。

③第1回建築物グリーン化促進に向けたネットワーク会議参加
 脱炭素社会の実現に向けた省エネ建築物の普及促進に係る取り組みについて、7月4日に行われた会議への参加報告がありました。

④+A役員会議
 7月5日+A役員との会議を行い、今後の活動等について意見交換を行いました



5.例会企画 松田会員
 「戸次のまちづくり+マイワークス」 石井会員
 審議事項に時間を要したため、延期となりました
 今年度中再度調整し開催いたします。

次回例会案内 松田会員
 竹田市出身の彫刻家 森貴也様による講演会を予定

6. 閉会 竹宮副会長
 竹宮副会長より閉会の辞がありました。

■2023年度 第4回例会

日時 2023年8月22日（火） 18:15～19:50
 場所 J:COMホルトホール大分303
 出席者 7名
 JIA会員 出席7名、委任状10名、欠席4名（21/21）
 協力会員11名、一般2名
 議事録作成者 一宮嘉宏
 議事録署名人 三浦逸郎

◆内容

1.確認事項 高橋幹事
 出席者人数の確認を行った。
 会員数21名の内、出席者総数7名（委任状による出席者数10名含む）、欠席者4名により、例会が成立する。

2.会長挨拶 重田会長

3.報告事項

○支部関係

- ①建築家大会2024について 重田会長
 来年行われる建築家大会2024は11月28日～11月30日に大分で行われる事で決定。別府国際コンベンションセンター「ビーコンプラザ」を予定し、九州支部長松山氏を大会委員長とし、大分分会重田会長も副実行委員として開催に向けて行く報告がありました。
- ②建築家大会2023東海in常滑について
 今年11月9日～11月11日の参加募集の説明がありました。
- ③Jia九州建築塾inいぶすきについて
 今年9月21日～9月23日開催の建築塾について、大分地域会より3名が参加されると報告がありました。
- ④九州・沖縄設計4団体（JIA、建築士会、建築士事務所協会、JSCA）の懇談会が11月5日開催予定で、重田会長が参加予定の報告がありました。
- ⑤四季の会について70歳を目安に各地域会からの参加
 70歳を目安に各地域会からの参加を募り開催予定。参加費の補助を予定している説明がありました。

○地域会関連 重田会長

- ①YKK AP様「九州製造所（八代）見学会」（9月26日開催）
 見学会募集を8月末まで行っている説明がありました。
- ②新規協力会員佐伯広域森林組合様、桐井製作所様、孝洋商事様の支部承認が下りた事の報告がありました。

○その他 三浦会員
 次世代を担う木の匠創出事業計画（案）について（R5木の匠育成研修会）11月24日に開催されるフォーラムの説明がありました。



4.例会企画 松田会員

・協力会員紹介 株式会社コテガワ 小手川様
 会社案内、取扱い商品の紹介・説明をしていただきました。



・TOTO株式会社 大分営業所 小西様
 9月12日.13日 大分営業所ショールームで行われる「SDGsから考えるパブリックトイレ」セミナーのご案内を頂きました。



・「竹田市城原プロジェクト-記憶をつなぐ-」
 彫刻家 森貴也 様（CPD：1単位）
 彫刻家である森様の作品の紹介をはじめ、これまで行って来た取組と、城原地区で行った建物改修プロジェクトの内容の説明がありました。地域おこしや次世代につながるプロジェクトへの思いを講演いただきました。



5. 閉会 高橋幹事

高橋幹事より閉会の辞がありました。

■2023年度 第5回例会

日時 2023年9月19日（火） 18:15～19:30
 場所 「J:COMホルトホール大分」 201会議室
 出席者 10名
 JIA会員 出席 11名、委任状 7名、欠席 3名（18/21）
 協力会員 12名
 議事録作成者 足立心也
 議事録署名人 後藤靖二

◆内容

1.確認事項 高橋幹事
 出席者人数の確認を行った。
 会員数21名の内、出席者総数18名（委任状による出席者数7名含む）、欠席者3名により、例会が成立する。

2.会長挨拶 重田会長

3.報告事項 重田会長
 ○支部関係の報告

- ・ 建築家大会関連（2024年11月28日（木）～30日（土）、ピーコン）
 実行委員会随時対応中：8/28会場視察、8/30 実行委員MTG、
 9/14 統括MTG
 大会統括チーム来県ミーティングを10/30に開催予定ですので
 ぜひ参加をお願いします。
- ・ 建築家大会2023東海in常滑（2023年11月9日（木）～11日（土））
 参加者募集中、参加費（¥12,000）大分地域会補助
- ・ 九州建築塾inいぶすき 2023年9月21日（木）～23日（土）
 大分からの参加者3名（会員事務所1名、+A2名）含む19名
- ・ 九州・沖縄設計4団体懇談会 2023年10月5日（木）福岡にて開催
 （重田会長が対面参加予定）

○大分地域会

- ・ YKK AP九州製造所見学 9月26日実施（CPD：3単位）
- ・ 大分県インテリア設計士協会 第12回家具デザインコンペ
 協賛及び審査協力依頼（審査12月）
- ・ 大分県建築士会 推しの建築家展への協賛

○その他

なし



5.例会企画 司会 松田会員

○協力会枠
 佐伯広域森林組合 宮脇様より会社紹介をしていただきました。

○講演
 「磯崎新とポストモダン」
 大分市美術館 館長 菅章様（CPD：1単位）



6. 閉会 高橋幹事

竹宮副会長より閉会の辞がありました。

■支部役員会・九州建築塾in指宿

日時 2023年9月22日（金）～9月23日（土）
 （建築塾：9月21日（木～））
 場所 指宿こころの宿（鹿児島県指宿市）
 参加者 重田、竹宮
 塾生：梅田高哉さん、佐藤和花さん、森悟さん

◆スケジュール概要	(*)：重田・竹宮参加
9月21日 11:00	塾生 鹿児島中央駅集合
13:00～	各所見学
16:20～18:00	開会、自己紹介、レクチャー
19:00～21:00	夕食・意見交換会
9月22日 AM	塾生 各チームまち歩き
12:30～15:30	支部役員会(*)
16:00～18:00	中間レクチャー(*)
19:00～21:00	支部役員を交えた意見交換会(*)
9月23日 AM	塾生 プレゼン準備
12:00～14:20	塾生プレゼン・クリティーク(*) （なのはな館視聴覚室）
14:20～14:30	建築塾 修了式(*)
14:30～16:00	講演会
18:00	塾生 鹿児島中央駅 解散

◆内容

指宿で開催された九州建築塾へ、支部役員会後の中間レクチャーから参加した。全塾生が各グループ内で熱心に取り組んでいた。ただ中間レクチャー時は、いい着眼点や発想なもの、発表や表現が消化不良な印象を受けた。

ところが、翌日のプレゼンテーションでは、いずれのグループも素晴らしい内容となっていて大変感銘を受けた。（その内容については後日例会で報告を兼ねて発表して頂くので楽しみに。）

2泊3日…梅田さんいわく、0泊3日…の短期間であったが、参加塾生にとっては非常にいい経験になったのではと感じている。



梅田さん発表



佐藤さん発表



森さん発表



中間レクチャー



修了式

■YKK ap 九州製造所見学会

日時 2023年9月26日（火） 12:30～16:00
 場所 YKK 九州製造所（熊本県八代市）
 参加者 11名（JIA会員 6名、+A 5名）
 CPD 3単位

◆スケジュール

9:00 大分駅集合・出発
 12:30 YKK 八代製造所到着
 昼食
 ライン視察、等
 16:00 YKK 八代製造所出発
 19:30 大分駅到着・解散

◆内容

最初に会社概要及びモノづくりの説明を受けた。その後、サッシやフェンス等の製造過程についての説明を頂き、工場内をバスで移動しながら各ライン視察を行った。またP-STAGE/EXパークでは製品紹介もあった。普段見ることのないサッシ等の製造過程であり、参加者一同熱心に見学させて頂き、大変勉強になった。時間が許せば、もっと様々な型材のラインを拝見したかった。

ご案内頂いたYKK ap 南様、奥村様、白濱様、ありがとうございました。



第33回 熊本の建築家作品展

- 開催期間：令和5(2023)年7月31日(月)～8月6日(日)
- 会場：PSオランジュリ 2階
- 一般展示 熊本の建築家作品展
- 特別展示：第12回 JIA熊本住宅賞 応募作品展示
- 特別企画：8月3日(木) JIA熊本住宅賞公開審査



江津ハウス
 熊本県熊本市東区江津に位置する「江津ハウス」は、2023年7月31日(月)～8月6日(日)に開催された第33回熊本建築家作品展にて、審査員賞を受賞した。この作品は、建築家・矢橋徹建築設計事務所によるもので、地域の歴史と文化を尊重しながら、現代的なデザインと機能性を兼ね備えた住宅である。建物は、地元産の木材を使用した外観と、開放的な空間設計が特徴で、自然光を取り入れることで快適な居住環境を実現している。また、環境に配慮した素材と工法を採用し、持続可能な住まいづくりを目指している。

JIA熊本住宅賞「江津ハウス」



岱明の家
 熊本県熊本市東区に位置する「岱明の家」は、2023年7月31日(月)～8月6日(日)に開催された第33回熊本建築家作品展にて、審査員賞を受賞した。この作品は、建築家・class archiによるもので、伝統的な建築様式と現代的な生活スタイルを融合させた住宅である。建物は、地元産の木材を使用した外観と、開放的な空間設計が特徴で、自然光を取り入れることで快適な居住環境を実現している。また、環境に配慮した素材と工法を採用し、持続可能な住まいづくりを目指している。

審査員賞「岱明の家」



築150年納屋の民家再生
 熊本県熊本市東区に位置する「築150年納屋の民家再生」は、2023年7月31日(月)～8月6日(日)に開催された第33回熊本建築家作品展にて、審査員賞を受賞した。この作品は、建築家・すまい塾古川設計室によるもので、歴史的な建物を再生させた住宅である。建物は、伝統的な建築様式と現代的な生活スタイルを融合させたデザインが特徴で、自然光を取り入れることで快適な居住環境を実現している。また、環境に配慮した素材と工法を採用し、持続可能な住まいづくりを目指している。

審査員賞「築150年納屋の民家再生」



本山の自邸
 熊本県熊本市東区に位置する「本山の自邸」は、2023年7月31日(月)～8月6日(日)に開催された第33回熊本建築家作品展にて、審査員賞を受賞した。この作品は、建築家・阿部悠子設計アトリエによるもので、伝統的な建築様式と現代的な生活スタイルを融合させた住宅である。建物は、地元産の木材を使用した外観と、開放的な空間設計が特徴で、自然光を取り入れることで快適な居住環境を実現している。また、環境に配慮した素材と工法を採用し、持続可能な住まいづくりを目指している。

審査員賞「本山の自邸」

第12回 JIA熊本住宅賞 公開審査

- 日時：令和5(2023)年8月3日(木)
- 会場：PSオランジュリ 1階
- 審査員：田中智之氏 (審査員長・熊本大学教授)、魚住有佳氏 (熊本日日新聞)、松山将勝氏 (JIA九州支部長)、ほりたみのる (JIA熊本地域会前会長)

今回のJIA熊本住宅賞は熊本地震や新型コロナを経て8年ぶりの開催となった。地域と建築文化の向上に寄与することを目的とし、条件は熊本県内で過去10年以内に竣工した専用住宅、住宅部分が1/2以上の併用住宅、リフォームされた住宅としていた。合計24作品の応募があり、熊本の建築家作品展に合わせて公開審査を行った。丸一日の審査を経て、JIA住宅賞(最優秀)は「江津ハウス」(矢橋徹建築設計事務所)、審査員賞には「岱明の家」(class archi)、「築150年納屋の民家再生」(すまい塾古川設計室)、「本山の自邸」(阿部悠子設計アトリエ)の3作品が選ばれた。住宅メーカー系の作品も多数応募があり、いずれもそれぞれ独自の視点で地域性を表現した素晴らしい作品ばかりであった。また、普段見ることのない審査員間での議論をみることができ、審査後はすべての作品に審査員から講評を頂き、非常に有意義な審査であった。



審査員賞「築150年納屋の民家再生」 審査員賞「本山の自邸」
 審査後は審査員、応募者、熊本地域会会員、会場を提供くださったピーエス(株)の平山社長及び社員の方も参加され懇親会を行った。会場の雰囲気も相まって充実した住宅賞となった。今後もこの盛り上げりを継続させていきたい。



八代市厚生会館

- ・令和5(2023)年9月3日(日) 八代市厚生会館をみんなで語る会に参加
- ・その他、ホール再開を求める会の定例会に出席



JIA25年賞 現地審査

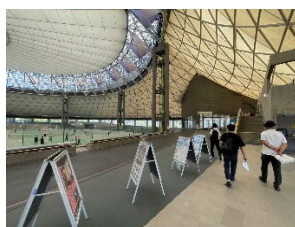
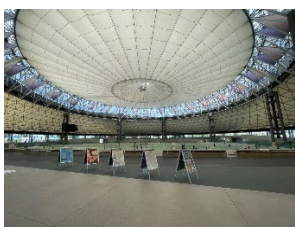
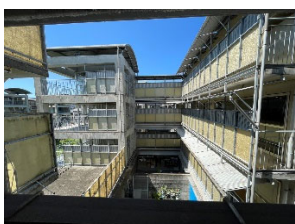
■日時：令和5(2023)年9月7日(木)

■審査対象：県営保田窪第一団地

熊本県民総合運動公園屋内運動広場

(通称：パークドーム熊本) 計2棟

■参加人数：4名



熊本地域会月例会 (第5回)

■日時：令和5(2023)年9月26日(木)18:00-20:30

■場所：熊本市国際交流会館3F研修室

■参加人数：10名

1. 審議事項、協議事項

1-1: ライティングパーティーについて

- ・メセナー（東芝ライテック、大光電機、コイズミ照明、古荘本店、YAMAGIWA、遠藤照明）依頼先承認
- ・司会は藤本美由紀さんに決定
- ・東大森さん追悼企画をいれる
- ・チケット代は例年通り一般3,000円、学生1,000円
- ・住宅賞の表彰を行う
- ・各担当者決め
- ・出展案内には内容の説明を加える
- ・申し込みにはGoogleのformsを使用する

1-2: 全国大会の登録、交通費について

- ・参加者：原田、吉永 登録料、旅費の一部を支出する

1-3: 宮城ボイス参加交通費について

- ・参加者：林田、原田 会の役員交通費から2万円支出

1-4: くまもとのいえの掲載について

- ・住宅賞の特集に5万円支出

2. 報告事項、確認事項

2-1: 支部役員会報告

- ・来年度の建築家大会が別府開催で決定
2024/11/28~30 (木・金・土) エクスカーションを
1つ熊本で受け持ち (担当：長野)
- ・柴田会員が選挙管理委員会に選定された

2-2: 25年賞審査報告

- ・県営保田窪第一団地と熊本県民広場屋内運動場の
2作品を審査し、登録する事とした

2-3: 住宅賞作品展報告

- ・全部の総評が届き次第応募者全員にコメントを送る

2-4: 建築塾の報告

- ・原田会員のスタッフ2が参加 濃密な2日間だった
費用面も鑑み2年に一度の開催になる可能性あり

3. その他 なし

4. CPD なし 次回磯田先生のCPD

5. 閉会 20:30

活動スケジュール

○11月

- 1日：建築家大会2024別府 実行委員会 (WEB)
- 7-8日：北九州市ZEB・ZEH勉強会
- 8日：新年賀詞交換会 建築局長・技術監理局長挨拶
- 9-11日：JIA建築家大会東海IN常滑
- 22日：建築家大会2024別府 実行委員会 (WEB)
- 28日：建賛会 合同商品説明会

○12月

- 6日：建築家大会2024別府 実行委員会 (WEB)
- 8日：北福岡地域会懇親ゴルフコンペ+忘年会
- 16日：九州支部第6回役員会、建築家大会2024別府 実行委員会、忘年会

北福岡地域会懇親ゴルフコンペ+忘年会

懇親ゴルフコンペ

- 日時：令和5年12月8日土曜日 11:00-16:30
- 場所：山陽国際語フルクラブ
- 参加：8名

忘年会

- 日時：令和5年12月8日土曜日 19:00-21:00
- 場所：ロバタノカリスマ
- 参加：13名
- 報告事項

・北福岡地域会の懇親ゴルフコンペと忘年会を行った。ゴルフコンペは2組、懇親会は13人の参加で、親睦を深めた。

JIA建築家大会東海IN常滑

■日時：令和5年11月9日-11日

■場所：愛知県常滑市

■参加：11名

■報告事項

- ・東海支部開催の全国大会
- ・常滑の風土や文化と建築をコンパクトな会場を点在させ、街歩きも織り交ぜた会場配置
- ・飲食店が少ないことから、他支部との偶然的な接触の機会も発生し、醍醐味となった
- ・祭りや土管、陶器の文化にふれ、ヴァナキュラーな風土に触れることが、後味の良い大会となった
- ・エクスカーションでは、豊田県立美術館や愛知芸術大学など貴重な建築体験ができた



10月公開例会 「自作を語る」

■福岡地域会新入会員二宮隆史氏と椎橋武史氏に登壇いただき、自作を語る公開例会を開催しました。当日は地元建築家やスタッフが多く来場し、満席となり盛会となりました。

日時：10月11日（水） 17：30～20：00

会場：On your marks 会議室A

二宮隆史・二宮清佳 椎橋武史

参加人数：42名



会場の様子



2023年度 JIA 福岡地域会
10月公開例会

「自作を語る」
二宮隆史・二宮清佳
椎橋 武史

椎橋 武史
株式会社 株式会社 建築設計事務所 代表取締役
1977年 東京都生まれ、建築士
1996年 建築士事務所 設立
2001年 建築士事務所 設立
2007年 建築士事務所 設立
2010年 建築士事務所 設立
2012年 建築士事務所 設立
2013年 建築士事務所 設立
2014年 建築士事務所 設立
2015年 建築士事務所 設立
2016年 建築士事務所 設立
2017年 建築士事務所 設立
2018年 建築士事務所 設立
2019年 建築士事務所 設立
2020年 建築士事務所 設立
2021年 建築士事務所 設立
2022年 建築士事務所 設立
2023年 建築士事務所 設立

二宮隆史
1977年 東京都生まれ、建築士
筑波大学建築学部卒業、東京大学大学院修士課程修了、
2001年 建築士事務所 設立

二宮清佳
1977年 東京都生まれ、建築士
筑波大学建築学部卒業、エディンバラ大学建築学部修士課程修了、
2002年 建築士事務所 設立、2003年 建築士事務所 設立、
2010年 建築士事務所 設立

公開例会スケジュール
日時：10月11日（水）
場所：On your marks 会議室A
福岡市中央区天神 2丁目 5-5 グランドビル 2F
(リッツカールトンの向かいのビル)

17:30～ 受付開始
18:00～19:30 トークセッション
19:30～20:00 質疑応答

参加・CPD 申込
参加料	申込締切	10/10(水)
申込先	申込先	
申込先	申込先	
申込先	申込先	

公開例会フライヤー

福岡建築倶楽部 新年会

次の日程で4年ぶりの「福岡建築倶楽部新年の集い」を開催予定です。

日時：2024年1月26日（金） 18時30分～

会場：ANAクラウンプラザホテル福岡 2F

12月2日 福岡地域会 忘年会

■日時：12月2日 18時30分～

■場所：博多八仙閣

この1年の慰労と親睦の意を込めて、協力会員の皆様と一緒に忘年会を開催いたしました。今年は総勢50名の皆様に出席いただき、盛大に開催することができました。恒例となりました新入会員の紹介（二宮氏、椎橋氏、矢作氏、DNライティング）やばんかよこさんチームのマジックショーがあり、参加者の笑顔があふれた時間となりました。また、会員同士の交流が深まり、有意義な時間を過ごすことができました。



忘年会集合写真



締め博多一本締



マジックショーの様子

福岡地域会役員会（第5回）

■日時：2023年10月21日（土曜日）17：00～18：30

■場所：JIA九州支部事務局

■参加人数：出席者 7名 ・ 委任状 6名

第4回役員会議事録確認

■審議事項

特になし

■協議事項

1.交通費助成について 2.選挙について 3. 5.その他

■報告事項 1. 会長報告 2. 九州支部長報告 3. 事業室報告

4. 企画運営室報告5. その他

福岡地域会役員会（第6回）

■日時：2023年12月2日（土曜日）16：30～18：15

■場所：八仙閣

■参加人数：出席者 13名 ・ 委任状 2名

■確認事項

第5回役員会議事録確認

■審議事項

■協議事項

1. 2024年度予算について

2. その他

■報告事項 1. 会長報告 2. 九州支部長報告 3. 事業室報告

建築相談室

10月から12月8日は下記の相談対応を行いました。

○10月12日 福岡 一般 既存建物2棟を撤去解体し、新築4階建てS造の事務所ビルを検討している。隣地建物の音を防ぐ方法や発注方法や施工費の相談

○11月30日 福岡 建築相談室定例報告会5名（井上、樋口、武本、川津、有吉）参加 忘年会5名参加



第5回福岡地域会役員会の様子



建築相談定例会報告会の様子

■JIA建築家大会東海支部大会in常滑

●日時：2023年11月9日（木）～11日（土）
 参加人数 長崎地域会より4名（佐々木、田中、平松、松本）
 当初参加予定の三好夫妻は急用で欠席



ウエルカムパーティー会場、INAXライブミュージアム



常滑の街並み：やきもの散歩道

■JIA九州支部 木活WG 参加予定者8名

●日時：2023年11月18日（土）～19日（日）
 ●場所：長崎県壱岐市郷ノ浦町「梅坂ふろしき」一帯
 荒天、旅客船欠航のため、2度目の延期となった。
 松島さんを中心に再度、企画の予定。

■建築家・百枝優「気配をつかまえる」講演会

（長崎総合科学大学地域科学研究所・JIA長崎地域会共催）
 ●会場：長崎県美術館2階ホール（長崎県長崎市出島町2-1）
 日時：2023年12月1日（金）18:00～19:30（開場：17:30）



建築家・百枝優 長崎講演会
「気配をつかまえる」

日時：2023年12月1日（金）
 18:00～19:30（開場17:30）
 会場：長崎県美術館2階ホール（長崎市出島町2-1）
 定員：100名（申込み先着順） 参加費：無料
 申込み：要・事前申込。右のQRコードから申込み下さい。
 共催：長崎総合科学大学地域科学研究所、（公社）JIA九州支部長崎地域会
 問合せ：20231201lecture@gmail.com **（CPD認定プログラム申請中）**



参加人数は正式申し込み53名+市民・学生など83名となった。

長崎総合科学大・JIA長崎
 百枝優公演会、盛況で閉幕
 長崎出身の建築家

長崎総合科学大学地域科学研究所とJIA長崎地域会が共催した「建築家・百枝優「気配をつかまえる」講演会」が、12月1日（金）18時～19時30分、長崎県美術館2階ホールで開催された。講演会は、長崎出身の建築家・百枝優氏が、自身の建築活動を通じて「気配をつかまえる」というテーマについて、自身の経験や考えを語り、会場は満席となった。講演会には、長崎県美術館の職員や、長崎県内の建築関係者、市民、学生など約130名が参加した。講演会では、百枝氏が自身の建築活動を通じて「気配をつかまえる」というテーマについて、自身の経験や考えを語り、会場は満席となった。講演会には、長崎県美術館の職員や、長崎県内の建築関係者、市民、学生など約130名が参加した。

12月9日付け、長崎建設新聞に掲載

■JIA忘年会&懇親会 出島ワーフ内（アティック）
 百枝氏、山田氏、会員14名+協力会員8名、計22名

■2023年度 第6回例会

日時 2023年10月17日（火） 18:15～19:30
 場所 「J:COMホルトホール大分」 409会議室
 出席者 13名
 (JIA会員 6名、協力会員 6名、+A 1名)

議事録作成者 桑野尚樹
 議事録署名人 一宮嘉宏

◆内容

1.確認事項 高橋幹事
 出席者人数の確認を行った。
 会員数21名の内、出席者総数18名（委任状による出席者数12名含む）、欠席者3名により、例会が成立する。

2.会長挨拶 重田会長

3.報告事項 重田会長
 ○支部関係の報告

- ・九州建築塾（9/21～23）の結果報告
 来月例会では九州建築塾に大分から参加した方から発表をして頂く予定
- ・九州・沖縄設計4団体懇談会参加（10/5）
- ・建築家大会in別府実行委員会（9/20、10/11）
- ・支部役員会（10/14）

○大分地域会

- ・YKK工場見学（9/26）の結果報告
- ・9月29日付 桐井製作所様（担当：原田様）協力会入会
- ・全国大会MTG、懇親会（10/30）予定
- ・士会「推しの建築家展」協賛します、オープニング参加予定
- ・「あいあいあい傘プロジェクト」協賛 青トンカチ

○その他

- ・映画『アアルト』10/21よりシネマ5bitsにて公開 松田会員より

4.例会企画 司会 松田会員

○講演

「学芸員ってどんな仕事？ 学芸員の仕事と展覧会の作り方」
 大分市美術館 学芸員 後小路 萌子 様



5. 閉会 高橋幹事
 高橋幹事より閉会の辞がありました。

■2023年度 第7回例会

日時 2023年11月21日（火） 18:15～19:30
 場所 「J:COMホルトホール大分」 302会議室
 出席者 33名
 （JIA会員 11名、協力会員 15名、+A 7名）

議事録作成者 山崎真司
 議事録署名人 後藤靖二

◆内容

1.確認事項 高橋幹事
 出席者人数の確認を行いました。
 会員数21名の内、出席者総数 18名（委任状による出席者数7名含む）、欠席者3名により、例会が成立しました。



2.会長挨拶 重田会長

3.報告事項 重田会長

○本部関係

①JIA全国大会in常滑報告

・九州支部より約50名参加。大分地域会からは6名参加。

○支部関係

①2024年JIA全国大会in大分

・九州支部役員とのMTGを1回/月ZOOMで開催中。

②2023年度九州建築新人賞

・一次審査結果発表。

大分では西村会員と光浦氏が二次選考へ。

○大分地域会

①「推しの建築展」会期終了報告。

②松村秀一講演会「ひらかれる建築」の告知。

・日時：11月26日（日） 11：30～13：30(開場11:00)

・場所：NBU日本文理大学エクステンションセンター
 8F視聴覚室

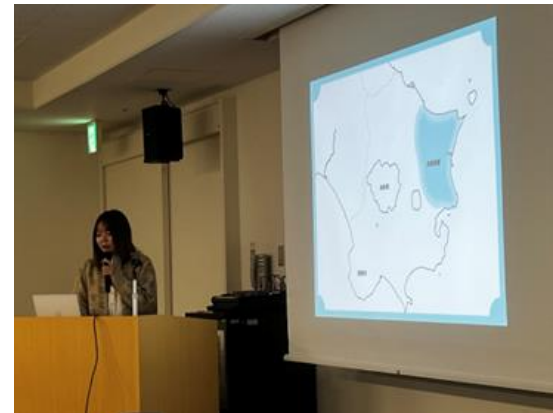
4. 例会企画 松田会員

○JIA建築塾報告

・発表者①「時を巡る玉手箱」梅田嵩哉 様



・発表者②「第3の指宿」佐藤和花 様



・発表者③「はだしていぶすき」森悟 様



・発表後は参加者から活発な意見や質疑応答を行いました。

5.閉会 竹宮副会長

竹宮副会長より閉会の辞があり散会しました。
 次回12月例会は12/19(火)17時00分(開場予定)。
 場所は「J:COMホルトホール大分」201会議室。
 ※例会終了後に忘年会開催予定。

6.懇親会

熊本地域会月例会 (第6回)

■日時：令和5(2023)年10月26日(木)18:00-21:00

■場所：熊本市国際交流会館3F研修室3

■参加人数：9名

1.審議事項、協議事項

1-1：ライティングパーティーについて

- ・松山支部長参加 魚住さん参加 田中先生未定
- ・飲食 担当：長野 前回の通り 鴨川
- ・チケット代の件 各自5枚を手配
- ・メセナーについて全て手配済
- ・司会 藤本美由紀さん
- ・東大森さん 追悼企画で照明の復元を行う
- ・二次会担当 丹伊田、柴田
- ・メセナーへの招待状 2枚 林田から郵送

1-2：全国大会2024

- ・20万を地域会から捻出

1-3：次年度担当分けについて

- ・一旦仮で担当割り振りして協議

2-1：支部役員報告について

- ・新人賞
- ・資格制度
- ・地震記録進捗 7割程度 来年1、2月完成
- ・全国大会
- ・支部役員改選
- ・建築討論 九州支部の企画 3日間
- ・JIAマガジン 末広氏コワーキングスペース掲載

2-2.25年賞

- ・現地審査 12/15
- ・保田窪団地、パークドームの2件
- ・審査員 佐藤会長、倉形俊氏、オブザーバー 伊藤氏
- ・応対者：林田、長野、松下、柴田
- ・交通費はJIAで出さない、応募者負担
- ・審査員の宿泊次第で懇親会検討

2-3.住宅賞の掲載報告

2-4.熊本県建築課

- ・建築確認円滑化対策連絡協議会にJIA加入

3.CPD 講師：磯田 節子 氏

4.閉会 21:00



JIA建築家大会2023東海in常滑

■日時：令和5(2023)年11月10日(金)

■場所：愛知県常滑市

■参加人数：2名

- ・災害対策シンポジウム 原田 登壇
- ・シンポジウム偉大な先輩建築家に学ぶVIII
- ・大会式典、メインシンポジウム
- ・レセプションパーティー
- ・九州ナイト



熊本地域会月例会 (第7回)

■日時：令和5(2023)年11月24日(金)18:00-21:00

■場所：熊本市国際交流会館3F研修室3

■参加人数：10名

1.審議事項、協議事項

1-1：ライティングパーティー

- ・担当、スケジュール確認
- ・東大森さんの追悼照明企画 (森下)
- ・メセナの審査調整 (森下)
- ・2次会 ポルガ

1-2：人吉研修の提案 (松下)

- ・人吉で作品を回る1泊2日研修旅行を企画 (2月頃)
- ・芳野旅館の宿泊施設をお借りして宿泊費の経費削減

1-3：八代厚生会館の要望書提出の件

- ・提出の際は松山支部長も来て頂くことに決定
- ・交通費は地域会で負担することで決定

1-4：くまもとのいえの掲載について

2.報告事項

2-1.全国大会について 吉永不在のため報告延期

2-2.25年賞について

- ・12/19(日)審査実施 松下、柴田、長野、林田で対応

2-3.住宅賞の報告書について

- ・ライパの表彰式後に表彰資料を添付してJIAのホームページ上に掲載する

2-4.建築確認円滑化対策連絡協議会について

- ・林田、古川にて参加した

2-5.九州建築新人賞

1次審査結果

<https://www.youtube.com/watch?v=zaw14601lck>

3.CPD 今回はなし

4.閉会 21:00

第33回 JIA クリスマスライティングパーティー
第12回 JIA熊本住宅賞 授賞式

■日時：令和5(2023)年12月1日(金) 18：30～20：30

■場所：熊本市上通 同仁堂4F スタジオライブ

■参加人数：91名

コロナ禍で開催を見合わせていたJIA熊本地域会恒例のライティングパーティーを4年ぶりに開催した。特別企画として故・東大森さんの追悼企画も行い、招待者含め90名を超える参加者が集まり大盛況であった。

専門学校生や高校生など学生の参加も多く、若手建築家の参加もあり、熊本の明るい未来を感じることができた。

また、ライティングパーティーに先立ちJIA熊本住宅賞の授賞式も行った。



第 23 回 JIA 九州建築塾 in いぶすき

9月21日~23日に鹿児島県指宿市にて建築塾を開催しました。

テーマは「指宿を建築にしろ」で、2泊3日の短期間に課題に基づき提案発表を行うプログラムです。

九州各地より若手建築設計者ら計 19 名の塾生が参加し講師は高崎正治氏・三谷徹氏・山下裕子氏・宮崎秀志氏に努めていただきました。

最終日には塾生発表の様子や講師によるまちづくりについての講演を一般にも公開し、市民にも建築への関心をもっていただける

内容としました。初日は建物見学、街歩き、レクチャー、意見交換会、2日目は中間レクチャー、意見交換会、最終日は塾生

発表クリティーク、講師による講演会のプログラムで進行いたしました。

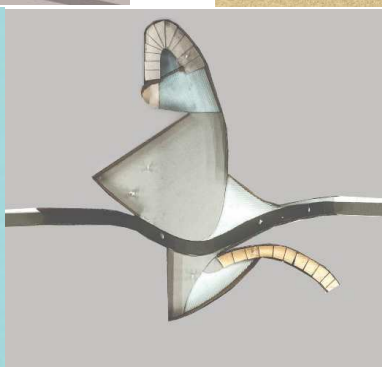
参加人数は塾生 19 名 + JIA (講師含む) 32 名の計 51 名で最終日には学生含む一般の方も約30名参加されました。

今回は指宿のまち全体を対象敷地とし、まちづくりを含む提案を求める課題で塾生にとっては難易度の高い内容に対し、短期間

にグループとして提案を発表しなければならず、中間発表段階では講師から厳しい指摘もありましたが、塾生たちは一晩で案を

磨き上げ素晴らしい提案をしてくれました。講師陣やJIA会員の厳しくも心暖かい指導を受けながら、やり遂げた経験は塾生に

とって貴重な体験となり今後の設計活動に活され活躍される事を願っています。



鹿児島地域会10月度役員会

10月3日に地域会役員会を開催いたしました。参加人数は5名

会議後に懇親会にて今後に向けた意見交換を行いました。

■協議事項

□JIA建築家大会2024別府の支部実行委員会Web会議 6/26 7/24 8/10 8/30開催（下山、宮崎、水本）

・開催日は2024年11/28（木）～30（土）で決定。月2ペースで会議、2023.11.9常滑大会でPR動画発表

準備は支部、福岡地域会がメインとなるが今後各地域会にも役割分担をお願いする。

□9/22支部役員会（下山、宮崎、水本）・建築塾追加予算 支部20+35万 鹿児島地域会20+15万で承認（収支報告書により清算）

次回から地域会負担、予算面を考慮し隔年開催も含め内容は要検討する。・JIA国際交流助成金、KIRA交流10万円助成申請承認。

・11/9～11/11 JIA全国大会常滑参会者（プレ大会含む）、各地域会から参加者増のお願い、あと2名

・25年賞 屋久杉自然館 本部申請済（鯉坂、岩田、宮崎）・CPDプログラムの配点注意・熊本地震支援記録誌 11月初稿（執筆者お礼）

□9/13鹿児島県設計団体懇談会（下山、宮崎）・建築士会全国大会鹿児島開催の協力、2025改正、基準法、省エネサポート体制等

□その他・池田太一Jr会員（入会本部申請中）

■報告事項

□近々事業の確認

□九州建築塾inいぶすき 終了の御礼

□10/21（土）～10/22（日）JIA建築展・シネマ祭（志賀、藤崎、徳永）・広報早めにする。フライヤー作成・各大学作品連絡調整

・会員作品パネルデータ KIRAパネル（藤崎）・人員配置案作成、他事業との重なり考慮（志賀、藤崎）

・シネマ祭チケット販売促進（志賀、全員）

□10/19（木）～10/22（日）韓国全羅北道建築士会（KIRA全北）国際交流（下山、宇都、志賀、奥）スケジュール・人員配置

□11/27（月）～11/29（水）JIA青森地域会との交流（JIAはしっこ会）（下山、鯉坂、宮崎、岩田、松島）

・本年度は鹿児島地域会から青森に訪問、その後は交互訪問予定。

■その他

□10/19（木）地域会例会 日程検討

□2023年度JIA九州建築新人賞（U49） 作品応募受付中 10/31〆切

□登録建築家更新 2023.11.1～2024.1.31まで 新規登録もJIA、HP確認の事。

□四季の会支部主催10/7福岡、会費1万円概ね70歳以上の会員

小原、高崎、武田、東條、中俣、西、古川、養田、石川、中原、八反田 11名

□支部長漫遊記総括 来年2月予定（福岡）

□JASCA（鹿児島）との積極的な交流の打診あり、講演などの案内等。

以上



韓国全羅北道（KIRA 全北）国際交流

10月20日~22日に韓国全羅北道建築士会（KIRA 全北）国際交流を鹿児島県にて開催しました。

以下開催概要

■参加者：九州支部鹿児島地域会 10名

鹿児島県建築士会、鹿児島県建築士事務所協会、鹿児島県 4名、鹿児島市 6名 鹿児島大学 12名（講義受講）

■事業の目的：この国際交流を通して両協会会員の相互理解と友好を深め、建築文化や技術の向上を図る。

行政機関への表敬訪問により建築設計者業務の理解や韓国の建築事情を知って頂く機会になる。

また、建築家を目指す学生や生徒に対し講義や授業を行い若手の育成に努める。

■日程：10月20日 鹿児島市表敬訪問、鹿児島県表敬訪問、鹿児島大学講義、国際交流会議、高校生設計競技見学、レセプション

10月21日 建築見学：庁舎工事現場（免震構造）・麓集落等、建築展見学、懇親会

■まとめ：2011年から始まった本交流ですがコロナ禍等により5年ぶりの対面交流となりました。

今回は韓国側からの訪問であり建築や文化歴史的に共感性の高い隣国との交流は充実した内容で終える事ができました。

今後も両国の建築文化の交流を通じ、市民や若者との交流にも繋がるよう交流を継続していきます。



JIA建築展・シネマ祭

鹿児島地域会では例年一般の方々に向けた建築展を開催しています。今回は10月21日~22日にJIA建築展を鹿児島県歴史資料センター黎明館第一展示室にて開催しました。

展示内容はJIA会員作品パネルの他、KIRA（韓国全羅북도建築士会）会員作品パネル、大学生作品パネル及び模型（鹿児島大学工学部建築学科、第一工科大学工学部建築デザイン学科、鹿児島県立短期大学生活科学科生活科学専攻）の展示を行いました。

今回はKIRA訪日に合わせた開催としKIRA会員の方にもご覧いただきました。

一般の来訪者は100名を超え興味深く作品を見ておられました。又、建築展と同時にシネマ祭もマルヤ、ガーデンズシネマにて開催しました。今回はAALTO及び前田建設ファンタジー営業部の2



JIA 建築展

2023年10月21日[土]~22日[日]
鹿児島県歴史資料センター黎明館第一展示室
入場料：無料

建築 CINEMA 映画祭 2023
2023年10月21日(土)・22日(日)
マルヤガーデンズ 7F ガーデンスイムマ
上映作品：AALTO・前田建設ファンタジー営業部

(公社)日本建築学会九州支部鹿児島地域会
JIA鹿児島地域会事務局 電話 099-822-8985 鹿児島市・デザイン工房内

- 講師 飯
- 石川 幸希
- 野田 幸子
- 宇野 仁
- 奥 秀仁
- 小野 良新
- 小原 正彦
- 川島 渡
- 川島 展文
- 沼津 一郎
- 下山 浩秀
- 池田 悠行
- 柴田 尚登
- 高橋 正治
- 坂田 敏郎
- 兼松 正博
- 中根 祐二
- 中塚 邦人
- 中山 憲士
- 西 久志
- 野崎 幸一郎
- 藤田 勉一郎
- 吉川 亮
- 本本 浩二
- 高田 博幸
- 高橋 美志
- 松久保 孝行
- 八坂 洋一
- 本野 達也
- 徳永 孝平
- 森 泰司
- 高橋 智平
- 高田 雅也



対策映画祭 2023
2023年10月21日(土)・22日(日)
鹿児島県歴史資料センター黎明館第一展示室

上映作品：AALTO・前田建設ファンタジー営業部

主催：JIA鹿児島地域会

協賛：鹿児島県建築士会、鹿児島県建築士会鹿児島支部、鹿児島県建築士会鹿児島支部鹿児島支部、鹿児島県建築士会鹿児島支部鹿児島支部

会場：鹿児島県歴史資料センター黎明館第一展示室

入場料：無料

お問い合わせ：099-822-8985



鹿児島地域会11月度役員会

11月14日に地域会役員会を開催いたしました。参加人数は7名

会議後に懇親会にて今後に向けた意見交換を行いました。

■協議事項

建築展、シネマ祭、KIRA交流 開催終了の御礼

JIA建築家大会2024別府の支部実行委員会Web会議

6/26 7/24 8/10 8/30 10/11 11/1開催（下山、宮崎、水本）

メインテーマ「建築の未来」 サブテーマ皆で考える。

各地域会より協賛金：鹿児島地域会からは20万×2=40万 余れば返金。

10/14支部役員会（下山、宮崎、水本）

・来期支部委員：鯉坂氏 文化財修復塾任期6年で退任 鯉坂氏は建築家資格制度実務委員会に選出候補

・JIA入会にあたっては各地域会で対面説明での承認を行う。

・次回プルテン執筆 柴田、蓑田朋章及び建築塾報告 12/15×切

・支部長漫遊記総括 来年2月予定（福岡）酒井、徳永、蓑田朋、木元、宮崎響

・25年賞 屋久杉自然館 建築選選出 現地審査は熊本2 福岡1（鯉坂、岩田、宮崎）

11/9～11 JIA建築家大会2023 東海in常滑 参加（鯉坂、下山、酒井、水本、蓑田、宮崎）

・来年の別府大会開催での運営などを見据えた視察も行った。

その他

・11/5 県内工業高校生設計競技（土会主催） KIRA賞授与（宮崎）

・池田太一Jr会員（10/6付け本部承認）

・木元Jr会員 正会員への手続き準備中

■報告事項

近々事業の確認・別紙地域会事業計画書参照 12/12例会 1/16合同例会 OL（講師の手配）HM予約済 会費7000円

・12/1（金）16:30 稲盛会館 栗生 明 講演会（JIA鹿児島後援） 19:00～歓迎会

九州建築塾inいぶすき・収支報告書作成（肥後）・報告書作成（全員で手分け）・総括（全員）

JIA建築展（黎明館）・シネマ祭（志賀、藤崎、徳永）・収支報告書作成（肥後）・報告書作成・総括（全員）

韓国全羅北道建築士会（KIRA全北）国際交流・収支報告書作成（肥後）・報告書作成（全員で手分け）・総括（全員）

JIA建築家大会2024別府の各地域会からの協賛金の承認の件

・鹿児島地域会からは20万×2年度=40万（余剰金から） 余れば返金する。

11/27（月）～11/29（水）JIA青森地域会との交流（JIAはしっこ会）（下山、鯉坂、宮崎、岩田、松島）

・本年度は鹿児島地域会から青森に訪問、その後は交互訪問予定。

来年度人事の件

■その他

登録建築家更新 2023.11.1～2024.1.31まで 新規登録もJIA、HP確認の事。

JSCA（鹿児島）との積極的な交流の打診あり、講演などの案内等。

以上

青森と鹿児島の建築文化交流

11月27日~29日に第一回目のJIA青森地域会と鹿児島地域会の交流を開催しました。

本交流は地理的にも会員相互の交流が少ない事、歴史、気候風土などの違いも大きくお互いに建築を通してはっこ同士で理解を深めあう事を目的とし、相互に行き来し継続していく予定としています。

今回は鹿児島から青森に訪問する形で鹿児島から鰹坂、下山、岩田、宮崎、松島（北福岡）会員が参加しました。

青森地域会からは進藤東北支部長、他9名の会員が参加されました。

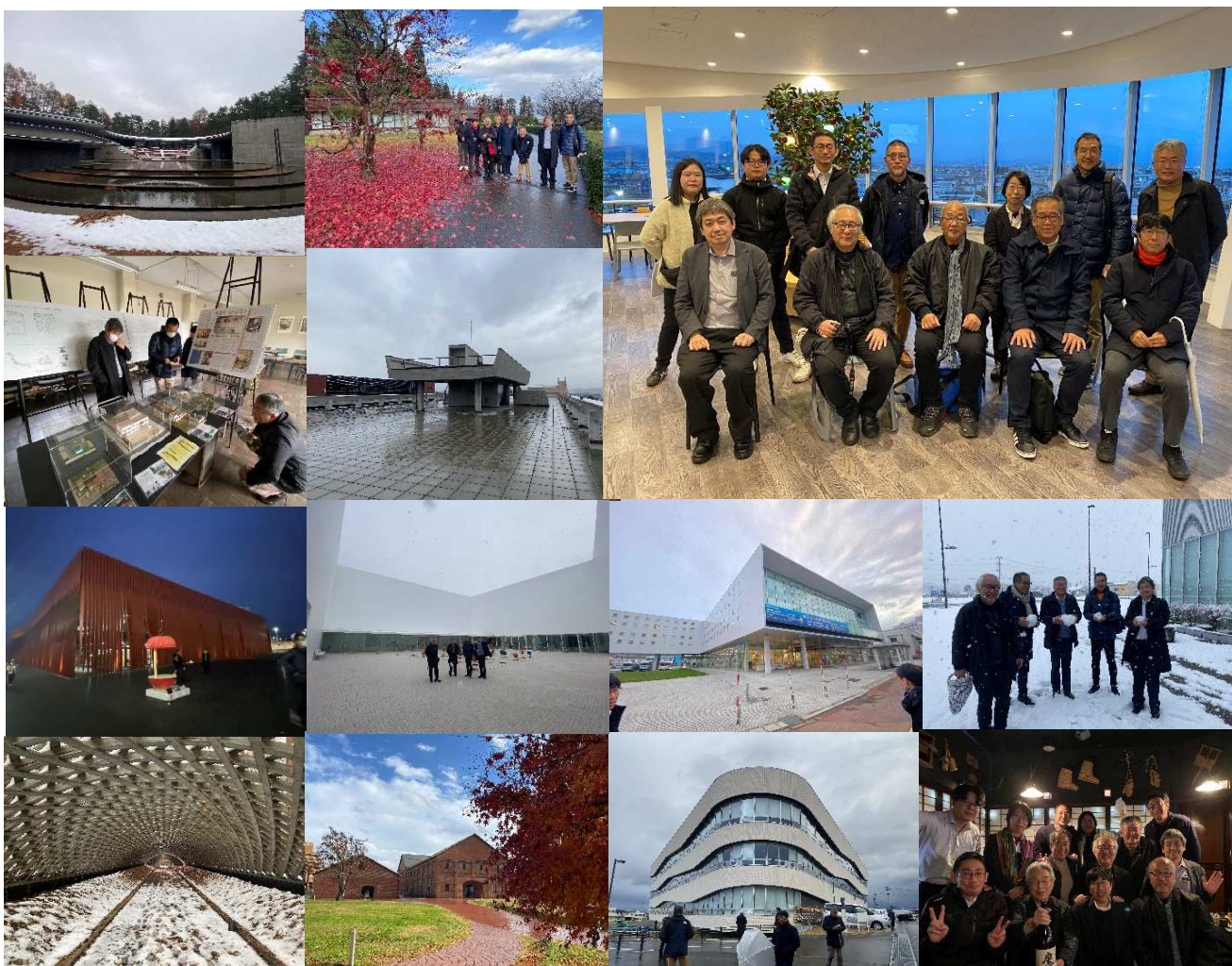
2日目にはNASCAの古谷氏、八木氏も参加され近作の平川市庁舎を案内いただきました。

今回は青森市、弘前市、平川市、十和田市の建築を青森地域会の方にご案内いただき、夜の懇談会でも親交を深めました。

主な見学先は国際芸術センター青森（安藤忠雄）・青森中央学院大学正門他（福士譲）・青森市役所庁舎（佐藤総合、八洲建築設計）ワ・ラッセ、ねぶた会館（フランク・ラ・リヴィエレ）・弘前では前川国男作品である木村産業研究所・弘前市斎場・緑の相談所弘前市庁舎・弘前市民会館・弘前市博物館・その他弘前れんが倉庫美術館（田根剛）そして平川市庁舎（NASCA）を見学しました。

3日目は十和田市にて現代美術館（西沢立衛）・教育プラザ、図書館（安藤忠雄）・市民交流プラザ、タワーレ（隈研吾）地域交流センター（藤本壮介）と数多くの建物を案内いただきました。

最終日は雪も降り、鹿児島とは大きく違う気候風土や建造物に一同、深い感銘を受け、次回は鹿児島での開催を約束してきました。尚、詳細は交流報告書に記載しております。



編集後記

今年の年末は、寒暖の差が激しいながらも、4年前の師走のような慌ただしさが戻ってきたように感じます。

今回もお忙しい時期にもかかわらず執筆を快く受けていただいた皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。オピニオンでは鹿児島県指宿市にて2泊3日開催された建築塾レポートを宮崎さんに執筆いただきました。塾生たちは熱く厳しく愛情深い講師陣、会員からの意見、限られた時間の中でのプレゼン等々通常の業務では体験できない厳しい塾に最初は驚かれたことと思います。そのような環境のなかでもプログラムをこなしながら成長していく塾生を大変頼もしく思います。次世代の九州建築界を担う存在として、活躍していくことを期待しています。「おしえて」コーナーは鹿児島大学建築学科柴田教授に研究室紹介を執筆いただきました。美しさを工学する学術的研究から、先端技術を用いる設計手法の試みまで幅広く学べる環境を羨ましく思います。学生たちが自ら汗を流し、制作に関わることができる環境は机上の学びだけでは得られない実践的で貴重な経験になるのではないのでしょうか。今井さんの「建築家派遣エコルサポート」ではJIA会員が市内の小学校の総合学習の時間帯に出向き、レクチャーや模型づくりのサポートを行う活動を報告いただきました。子ども達との模型制作などの活動を通じて現代の小学生の柔軟な創造力に驚き、前向きな姿勢は明るい未来をつくりあげていくはずです。ものづくりの楽しさを伝え、次世代を育てていく環境づくりは意義深い活動と感じます。「とびっくす」では河野さんに「みやざき木造塾」について執筆いただきました。宮崎県の杉素材生産量日本一に驚きながら、木造の新たな可能性や魅力を伝える継続的な活動の重要性を改めて認識しました。自費出版書「子育ては住まいから」は木造建築の魅力の後世に伝え、これからの家族の暖かい空間を作り出していくことと思います。「よかもん」では山崎さんローマ旅行記を執筆いただきました。ローマ建築の魅力から自身の建築にどっぷり浸かる決意と危険なエピソードまで、建築海外旅の想像が膨らむ内容でした。20年の時を経て、イタリア辞書を手にした次の旅行計画のお話も聞いてみたいです。「わさもん」では新入会員の蓑田さんと林田さんに自己紹介を執筆していただきました。自作品や趣味の写真と共にお二人の魅力的なパーソナリティをお届けします。これからよろしく願いいたします。「協力会つうしん」は北福岡地域会協力会藤川さんに執筆いただきました。今後も活動を通じて協力会とのつながり深めていければと思います。いつもサポートいただき感謝いたします。上記記事に加えて本号は全国委員会活動、各地域会活動報告も大変充実しておりますのでご高覧いただければ幸いです。執筆者をはじめ、支部会員の皆様のご協力でブルテンを発行できたことに改めて深く感謝申し上げます。

来年も皆様にとって良い一年になりますようお祈り申し上げます。

広報副委員長 有吉兼次

